

# ネットワーク設定説明書

## ネットワークの準備

### 第1章 ネットワークで使う前に

## ネットワークの設定

### 第2章 ネットワークで設定する

### 第3章 Webブラウザで管理する

## Windows 編

### 第4章 ネットワークプリンターとして使う

### 第5章 インターネット印刷機能を使う

### 第6章 BRAdmin Professional で管理する

## Macintosh 編

### 第7章 ネットワークプリンターとして使う

### 第8章 BRAdmin Lightで管理する

## こんなときは

### 第9章 トラブルシューティング

### 第10章 付録

Microsoft、Windows、および Windows NT は、  
米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。  
画面の使用に際して米国マイクロソフト社の許諾を得ています。

Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat は、  
Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標または商標です。

Apple、Apple のロゴ、Macintosh、Mac OS は、  
アップルコンピュータ社の登録商標です。

Intel、Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。  
その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。



「Printing Force FUJI XEROX ロゴマーク」が適用された商品は、富士ゼロックスおよび富士ゼロックスプリンティングシステムズのプリンター技術を活用して製造し、安心と信頼のプリント環境を提供します。

コンピューターウイルスや不正侵入などによって発生した障害については、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

#### ご注意

- ①本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
  - ②本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
  - ③本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
  - ④本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
  - ⑤本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
- また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

XEROX、THE DOCUMENT COMPANY、“デジタル X”のマーク、Ethernet（イーサネット）、および Printing Force FUJI XEROX ロゴマークは、米国ゼロックス社または富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

# はじめに

---

このたびは DocuPrint 2000 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は、ネットワーク上で本機を使用して印刷するときに必要な情報について説明しています。製品の性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくために、製品をご使用になる前に、必ず本書をお読みください。

本書は、読んだあとも必ず保管してください。

本書の内容は、お使いのコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を理解されていることを前提に説明しています。

富士ゼロックスプリンティングシステムズ株式会社

## 本機に同梱されているマニュアルと記載内容

### クイックセットアップガイド

本機の設置手順、用紙のセット方法、プリンタードライバーのインストール方法などを説明しています。

### プリンタードライバーのオンラインヘルプ

プリンタードライバーの項目や各機能の設定方法を説明しています。

### 取扱説明書 (PDF)

本機の基本的な機能の説明、トレイや用紙ごとの印刷方法、オプションの追加や本機のメンテナンスについて説明しています。

### ネットワーク設定説明書 (PDF)



ネットワーク上で本機を使用して印刷するときに必要な情報について説明しています。  
ネットワーク環境の基本的な説明から、プリントサーバーの設定方法、プロトコルの追加方法などについて記載しています。

# 本書の使い方

---

本文中では、マークおよび商標について、以下のように表記しています。

## ● 本書の表記

	本機をお使いになるにあたって、気をつけていただきたいことを説明しています。
	本機の操作手順に関する補足情報を説明しています。

Windows® 95 の正式名称は、Microsoft® Windows® 95 operating system です。

Windows® 98 の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 operating system です。

Windows® 98SE の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system です。

Windows® 2000 Professional の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000

Professional operating system です。(本文中では Windows 2000 と表記しています。)

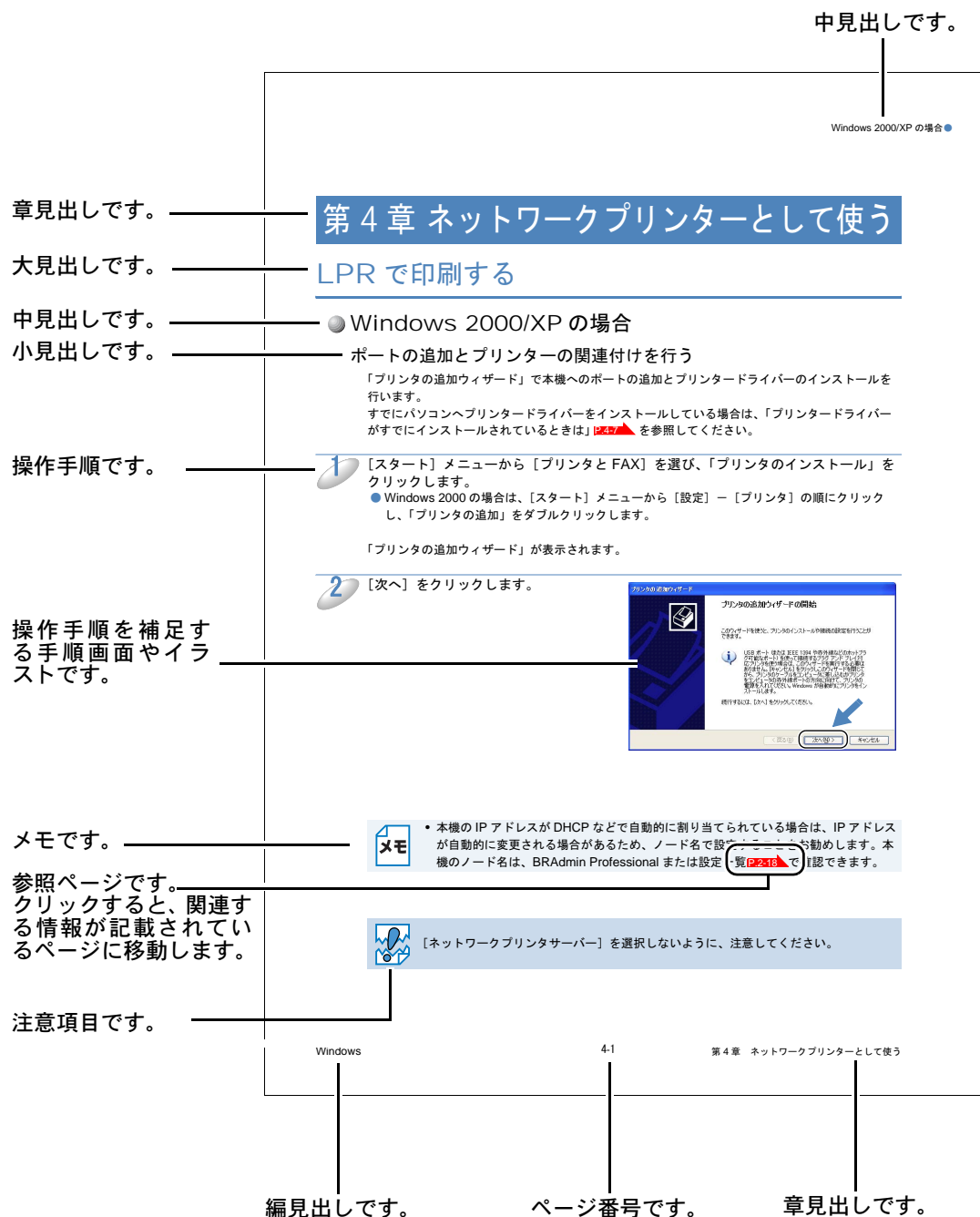
Windows® Me の正式名称は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system です。

Windows NT® Workstation 4.0 の正式名称は、Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0 です。(本文中では Windows NT 4.0 と表記しています。)

Windows® XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating system です。

本文中では、OS 名称を略記しています。

# 本書のレイアウトについて



このページは説明のために作成したもので、実際のページとは異なります。

はじめに.....	1
マニュアル体系 .....	2
本機に同梱されているマニュアルと記載内容 .....	2
本書の使い方 .....	3
本書の表記 .....	3
本書のレイアウトについて .....	4
目 次 .....	5

## ネットワークの準備 .....1-1

第 1 章 ネットワークで使う前に .....	1-2
ネットワークの概要.....	1-2
概要 .....	1-2
特長と機能 .....	1-3
ネットワーク導入作業の流れ.....	1-4
やりたいこと目次 .....	1-5
ネットワークプリンターの共有形態を決める .....	1-6
ネットワークの接続形態 .....	1-6
IP アドレスを決める .....	1-8
TCP/IP を利用して印刷するには、本機に IP アドレスを割り当てる必要が あります .....	1-8
IP アドレスとは.....	1-9
IP アドレスの決め方 .....	1-10
ネットワーク接続に必要な環境を整える .....	1-11
用意するもの .....	1-11

## ネットワークの設定 .....2-1

第 2 章 ネットワークで設定する .....	2-2
概要.....	2-2
IP アドレスとサブネットマスクを設定する .....	2-3
BRAdmin Professional を使用する (Windows のみ) .....	2-3
操作パネルを使用する .....	2-3
その他の設定方法を使用する .....	2-3
ネットワークの設定を変更する .....	2-4
BRAdmin Professional を使用する (Windows のみ) .....	2-4
操作パネルを使用する .....	2-4
Web ブラウザーを使用する .....	2-4
操作パネルから設定を変更する .....	2-5
ボタンと液晶ディスプレイ .....	2-5
操作パネル .....	2-5
操作パネルから設定できる項目 .....	2-5
TCP/IP の設定.....	2-6
TCP/IP オン / オフ .....	2-7
IP アドレス.....	2-8

サブネットマスク .....	2-9
ゲートウェイ .....	2-10
IP 取得リトライ回数 .....	2-11
IP 取得方法 .....	2-12
APIPA .....	2-13
IPv 6 .....	2-14
NetBIOS/IP の設定 .....	2-15
イーサネットモード .....	2-16
ネットワーク設定リセット .....	2-17
設定一覧の印刷 .....	2-18
<b>第 3 章 Web ブラウザーで管理する .....</b>	<b>3-1</b>
概要 .....	3-1
Web ブラウザーを使用して本機に接続する方法 .....	3-2
<b>Windows 編 .....</b>	<b>4-1</b>
<b>第 4 章 ネットワークプリンターとして使う .....</b>	<b>4-2</b>
LPR で印刷する .....	4-2
Windows 2000/XP の場合 .....	4-2
Windows 95/98/Me の場合 .....	4-8
Windows NT4.0 の場合 .....	4-14
NetBIOS で印刷する .....	4-17
概要 .....	4-17
ネットワークの設定 .....	4-17
TCP/IP プロトコルを追加する .....	4-18
FUJI XEROX ピアツーピア印刷 (NetBIOS) ソフトウェアのインストール .....	4-18
Windows 95/98/Me の場合 .....	4-21
Windows 2000/XP、Windows NT 4.0 の場合 .....	4-24
<b>第 5 章 インターネット印刷機能を使う .....</b>	<b>5-1</b>
Windows 2000/XP の場合 .....	5-1
別の URL を指定する .....	5-3
<b>第 6 章 BRAdmin Professional で管理する .....</b>	<b>6-1</b>
BRAdmin Professional をインストールする .....	6-1
ネットワークインターフェイスを設定する .....	6-2
<b>Macintosh 編 .....</b>	<b>7-1</b>
<b>第 7 章 ネットワークプリンターとして使う .....</b>	<b>7-2</b>
設定の流れ .....	7-2
Macintosh BR-Script 3 プリンタードライバを使う .....	7-3
Mac OS X 10.2.4 ~ 10.2.8 および 10.3 ~ 10.4 の場合 .....	7-3



Mac OS 9.1 ~ 9.2 の場合 .....	7-6
<b>第 8 章 BRAdmin Light で管理する .....</b>	<b>8-1</b>
IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定する.....	8-1
ネットワークインターフェイスを設定する .....	8-1
<b>こんなときは .....</b>	<b>9-1</b>
<b>第 9 章 トラブルシューティング .....</b>	<b>9-2</b>
概要 .....	9-2
一般的な問題 .....	9-2
CD-ROM を挿入しても自動的に開始しない (Windows のみ) .....	9-2
本機のネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする方法 .....	9-2
接続と設定の問題 .....	9-3
プロトコル固有の問題 .....	9-6
TCP/IP のトラブルシューティング .....	9-6
LPR (BLP) での TCP/IP ピアツーピア印刷のトラブルシューティング .....	9-6
NetBIOS での TCP/IP ピアツーピア印刷のトラブルシューティング .....	9-7
Web ブラウザーのトラブルシューティング .....	9-7
ファイアウォールの問題 .....	9-8
Windows XP のインターネット接続ファイアウォールの問題 .....	9-8
アンチウィルスソフトの問題 .....	9-9
その他の問題 .....	9-10
<b>第 10 章 付録 .....</b>	<b>10-1</b>
操作パネル以外から IP アドレスを設定する .....	10-1
概要 .....	10-1
IP アドレスの設定方法 .....	10-2
サービスの使用 .....	10-4
ネットワークボードのファームウェアのアップデート .....	10-5
概要 .....	10-5
ファームウェアのアップデート方法 .....	10-5
ネットワークボードのファームウェアのアップデート時の注意 .....	10-6
用語集 .....	10-7
ネットワークの仕様 .....	10-10
索引 .....	10-11

# ネットワークの準備

<b>第 1 章 ネットワークで使う前に .....</b>	<b>1-2</b>
<b>ネットワークの概要 .....</b>	<b>1-2</b>
・ 概要 .....	1-2
・ 特長と機能 .....	1-3
<b>ネットワーク導入作業の流れ .....</b>	<b>1-4</b>
<b>やりたいこと目次 .....</b>	<b>1-5</b>
<b>ネットワークプリンターの共有形態を決める .....</b>	<b>1-6</b>
・ ネットワークの接続形態 .....	1-6
<b>IP アドレスを決める .....</b>	<b>1-8</b>
・ TCP/IP を利用して印刷するには、本機に IP アドレスを 割り当てる必要があります .....	1-8
・ IP アドレスとは .....	1-9
・ IP アドレスの決め方 .....	1-10
<b>ネットワーク接続に必要な環境を整える .....</b>	<b>1-11</b>
・ 用意するもの .....	1-11

# 第 1 章 ネットワークで使う前に

## ネットワークの概要

### ● 概要

本機は、ネットワーク対応プリントサーバーを内蔵しており、10/100BASE-TX のネットワーク上で共有することができます。プリントサーバーは、TCP/IP プロトコルをサポートする Windows® 95/98/Me/2000/XP、Windows NT® 4.0 と、TCP/IP をサポートする Macintosh® のための印刷サービスを提供します。以下の表では、各動作環境でサポートするネットワークの機能と接続について示しています。

モデル名	動作環境	10/100 BASE-TX LAN (TCP/IP)	印刷	BRAdmin Professional	BRAdmin Light	インターネット 印刷	ステータス モニター
DocuPrint 2000	Windows® 95/98/Me/2000/ XP, Windows NT® 4.0	○	○	○		○ Windows® 2000/ XP のみ	○
	Mac OS® X 10.2.4 ~ 10.2.8	○	○		○		○
	Mac OS® X 10.3 ~ 10.4	○	○		○		○
	Mac OS® 9.1 ~ 9.2	○	○				

## ● 特長と機能

### ネットワーク印刷

本機は、TCP/IP プロトコルをサポートしている Windows 95/98/Me/2000/XP、Windows NT 4.0、また TCP/IP をサポートしている Macintosh (Mac OS 9.1 ~ 9.2、Mac OS X 10.2.4 ~ 10.2.8、Mac OS X 10.3 ~ 10.4) の印刷サービスを提供しています。

### 管理ユーティリティ

#### ● **BRAdmin Professional (Windows の場合)**

BRAdmin Professional は、ネットワークの設定や管理が簡単にできるユーティリティです。BRAdmin Professional をインストールする方法についての詳細は、「第 6 章 BRAdmin Professional で管理する」を参照してください。

#### ● **BRAdmin Light (Mac OS X 10.2.4 ~ 10.2.8 および 10.3 ~ 10.4 の場合)**

BRAdmin Light は、Mac OS X 10.2.4 ~ 10.2.8 および Mac OS X 10.3 ~ 10.4 のパソコンから、プリンターの状態を閲覧したり、プリンターのネットワーク設定を設定したりするためのユーティリティです。BRAdmin Light は、プリンタードライバをインストールしたときに、自動的にインストールされます。プリンタードライバをすでにインストールしている場合は、再度インストールする必要はありません。

# ネットワーク導入作業の流れ

「クイックセットアップガイド」の手順に従ってドライバーのインストールを進めると、自動的にネットワークの設定が完了します。

以降では、手動でインストールする場合の手順を示します。

## ネットワークプリンターの共有形態を決める

お使いの環境に合わせて本機をどのように接続するかを決めます。[P.1-6](#)

## IP アドレスを決める

本機に割り当てる IP アドレスを決めます。[P.1-8](#)

## ネットワーク接続に必要な環境を整える

本機をネットワーク上で使用するために必要なものを準備します。[P.1-11](#)

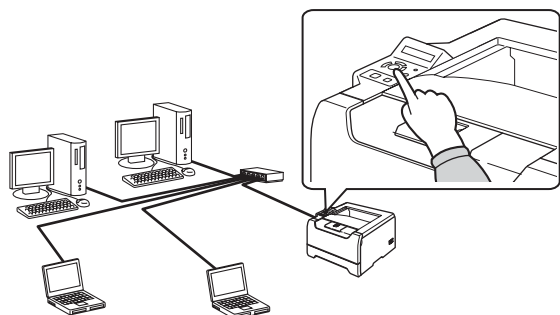
## ネットワークの設定を行う

BRAdmin Professional や操作パネルなどを使用して、本機をネットワーク上で利用できるように IP アドレスなどを設定します。[P.2-2](#)

## パソコンにプリンタードライバーをインストール、ポートを追加する

## ネットワークの設定をする

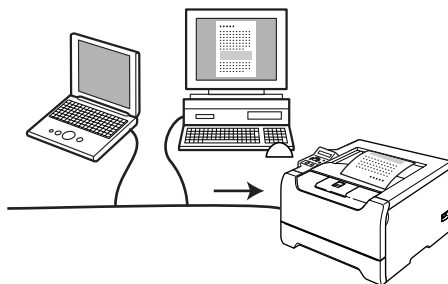
ネットワーク上で本機を使用するための設定ができます。P.2-2



## パソコンにネットワークプリンターの設定をする

本機をネットワーク上のパソコンから利用できるように設定します。ネットワーク上の複数のパソコンから印刷できます。

- ・ Windows の場合 P.4-2
- ・ Macintosh の場合 P.7-2



# ネットワークプリンターの共有形態を決める

## ● ネットワークの接続形態

本機を各パソコンからネットワーク上で共有する場合、ネットワークの接続形態には、各パソコンから直接プリンターと通信する「ピアツーピア接続」と、共有パソコンを経由して通信する「ネットワーク共有」があります。

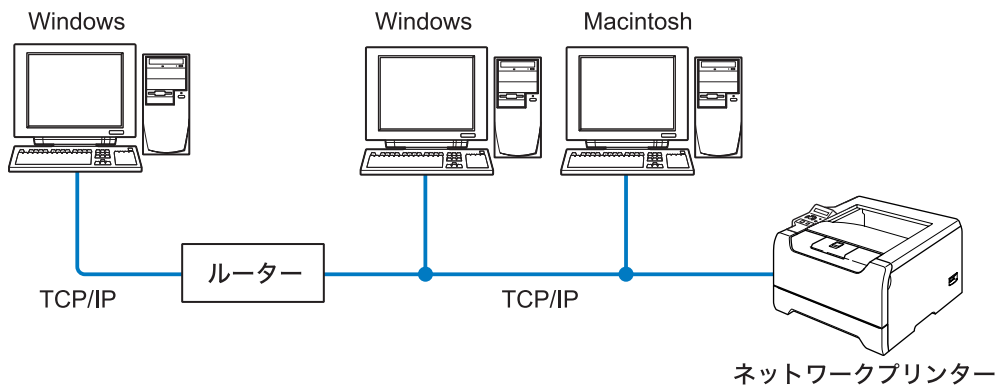


本書ではピアツーピア接続の設定方法について記載しています。

ネットワーク共有の設定方法については、オペレーティングシステムの共有プリンターに関する説明やヘルプを参照してください。

### ピアツーピア接続

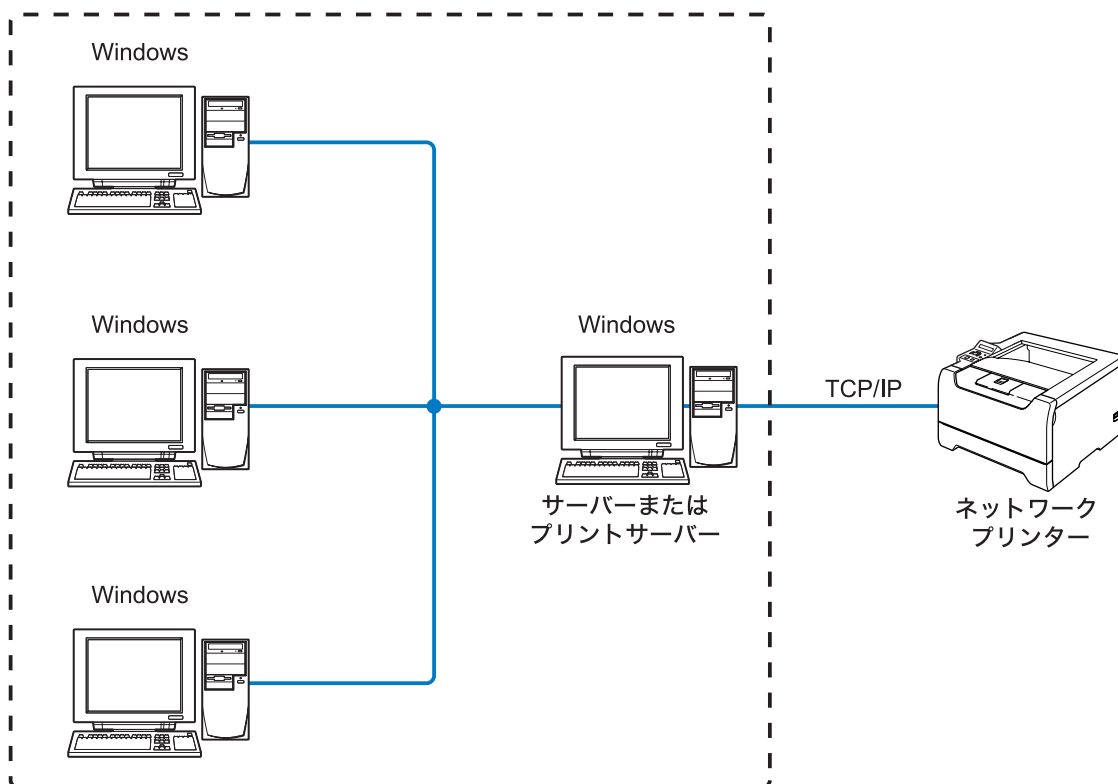
各パソコンにプリンターポートの設定が必要です。



- パソコン 2、3 台程度の小規模なネットワーク環境では、ネットワーク共有印刷よりも簡単に設定できるピアツーピア印刷をお勧めします。ネットワーク共有印刷については、[P.2-12](#)を参照してください。
- どのパソコンも、TCP/IP プロトコルを使用している必要があります。
- ネットワークプリンターに適した IP アドレスを設定する必要があります。
- ルーターを使用している場合は、パソコンとネットワークプリンターにゲートウェイアドレスを設定する必要があります。
- ネットワークプリンターは、Macintosh と通信することもできます。(TCP/IP 互換動作環境)

## ネットワーク共有

ネットワークプリンターに直接接続されているパソコンにのみプリンターポートを設定し、そのパソコンを経由して他のパソコンもネットワークプリンターを共有します。ただし、ネットワークプリンターに接続されているパソコンの電源が入っていないと、他のパソコンはネットワークプリンターを使用できません。



### ネットワーク共有

- 大規模なネットワーク環境では、ネットワーク共有印刷環境をお勧めします。
- サーバーまたはプリントサーバーは、TCP/IP 印刷プロトコルを使用してください。
- サーバーまたはプリントサーバーには、ネットワークプリンターに適した IP アドレスを設定する必要があります。
- ネットワークプリンターとサーバーを平行または USB インターフェイスを経由して接続することもできます。
- ネットワークプリンターは、Macintosh と通信することもできます。(TCP/IP 互換動作環境)



メモ ネットワーク共有の方法については、Windows の共有プリンターに関する説明やヘルプを参照してください。



# IP アドレスを決める

## ● TCP/IP を利用して印刷するには、本機に IP アドレスを割り当てする必要があります

使用するパソコンと同じネットワーク上に本機が接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。パソコンと本機の間にはルーターが接続されている場合は、さらに「ゲートウェイ」のアドレスも設定します。



### ゲートウェイの設定

ルーターはネットワークとネットワークを中継する装置です。異なるネットワーク間の中継地点で送信されるデータを正しく目的の場所に届ける働きをしています。このルーターが持つ IP アドレスをゲートウェイのアドレスとして設定します。ルーターの IP アドレスはネットワーク管理者に問い合わせるか、ルーターの取扱説明書をご覧ください。

IP アドレスは以下の方法で割り当てます。

### ● IP アドレス配布サーバーを利用している場合

本機は各種の IP アドレス自動設定機能に対応しています。DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバーを利用している場合は、本機が起動したときに自動的に IP アドレスが割り当てられます。

### ● IP アドレス配布サーバーを利用していない場合

DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバーを利用していない場合は、APIPA (AutoIP) 機能により、本機が自動的に IP アドレスを割り当てることができます。ただし、お使いのネットワーク環境の IP アドレスの設定規則に適さない場合は、本機の操作パネルを使用して本機の IP アドレスを設定してください。



### お買い上げ時の IP アドレス

IP アドレス配布サーバーを利用していない場合、お買い上げ時の設定は以下のとおりです。

・ IP アドレス：169.254.xxx.xxx (APIPA 機能による自動割り当て)

現在の設定値を調べるときは、「設定一覧」を印刷します。詳しくは、「設定一覧の印刷」[P.2-18](#)を参照してください。

## ● IP アドレスとは

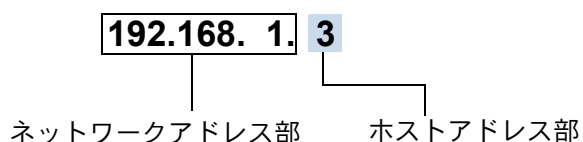
IP アドレスは、接続しているパソコンの住所にあたるものです。TCP/IP ネットワークに接続するパソコンなどの機器（ノード）には、IP アドレスを割り当てる必要があります。

IP アドレスは、0 ～ 255 までの数字を「.（ピリオド）」で区切って「192.168.1.3」のように表現します。ローカルネットワークでは、IP アドレスはサブネットマスクによって「ネットワークアドレス部」と「ホストアドレス部」に分割されています。サブネットマスクを設定することにより、ホストアドレス部だけでそのネットワーク全体を管理できます。IP アドレスとサブネットマスクは常にセットで管理してください。

**192.168. 1.3**  
**255.255.255.0**

**IP アドレス**  
**サブネットマスク**

と設定されている場合、



という意味を持っています。このうち利用可能なホストアドレス部の値は、予約された "0" と "255" を除いた 1 ～ 254 の範囲で、「192.168.1.3」は、

**192.168.1.1~254**

の中のひとつのアドレスであることがわかります。このネットワークに本機を追加する場合は、ホストアドレス部に重複しないよう変更した値を割り当ててください。



### 予約されているアドレス

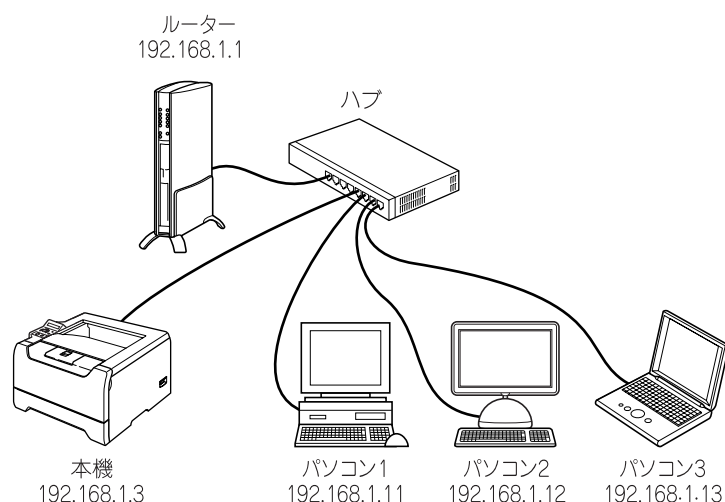
上記の例では、192.168.1.0 がネットワークアドレス、192.168.1.255 がブロードキャストアドレスとなり、本機に割り当てることはできません。

## ● IP アドレスの決め方

本機を同じネットワーク上に接続するためには、現在使用しているルーターなどの初期値に合わせると簡単に設定、管理することができます。IP アドレスを手動で設定する場合は以下のように設定します。ルーターの LAN 側 IP アドレスが「192.168.1.1」、サブネットマスクが「255.255.255.0」である場合、接続する本機やパソコンにネットワークアドレス部は同じ値を設定し、ホストアドレス部にはそれぞれ異なる値を割り当てます。ここでは「2 ～ 254」の範囲で設定します。以下の例を参考に、接続する機器の IP アドレスを設定してください。

例)

機器名 ( ノード )	IP アドレス	サブネットマスク
ルーター	192.168.1. 1	255.255.255.0
本機	192.168.1. 3	255.255.255.0
パソコン 1	192.168.1.11	255.255.255.0
パソコン 2	192.168.1.12	255.255.255.0
パソコン 3	192.168.1.13	255.255.255.0



### ネットワーク管理者がいるときは

事務所などで多くの機器をネットワーク接続している場合は、使用できる IP アドレスやサブネットマスクなどをネットワーク管理者に問い合わせてください。数値を適当に設定すると、ネットワーク接続できないなどトラブルの原因になります。



### ネットワーク内にルーターがあるときは

ルーターにも IP アドレスが割り当てられています。その IP アドレスを本機またはパソコンに設定しないでください。ルーターの IP アドレスはルーターの取扱説明書を確認するか、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

# ネットワーク接続に必要な環境を整える

本機をネットワーク上で使用するために、あらかじめ用意したり調べておくものについて説明します。

## ● 用意するもの

### ● ネットワークケーブル（LAN ケーブル）

本機とパソコン、またはハブなどの機器同士をつなぐケーブルです。ネットワークケーブル（LAN ケーブル）にはいろいろな規格がありますが、現在一般的なのはカテゴリ 5E という規格のケーブルです。5E の E は「Enhanced」の略で、「強化された」という意味を持っています。カテゴリ 5E のケーブルはカテゴリ 5 のケーブルよりもノイズに強い作りになっています。

また、同じカテゴリのケーブルにも「ストレートケーブル」と「クロスケーブル」の 2 種類があります。ストレートケーブルは ADSL モデムとパソコンの接続、パソコンとハブの接続に使用されるケーブルで、ほとんどの場合はストレートケーブルで接続が可能です。クロスケーブルは 2 台のパソコン同士を直接接続するときなどに使用されます。

機器間の距離よりも多少の余裕を持った長さのケーブルを購入してください。ただし、最大ケーブル長は 10BASE-T/100BASE-TX とともに 100m となっているため、それ以下になるようにしてください。

### ● ハブ

複数台のパソコンなどをネットワーク接続するときに必要な集線装置です。ハブには、大きく分けて「リピーターハブ」と「スイッチングハブ」があります。リピーターハブは主に 10BASE-T で使用される集線装置です。スイッチングハブは主に、100BASE-TX や 1000BASE-T に使用される集線装置で、信号の流れを制御してコリジョンという信号の衝突が起きないようにする機能を持っています。ハブに接続できる機器の数はハブのポート数によって決まります。お使いの環境から、何台の機器を接続するかを検討して購入してください。

### ● ルーター

ADSL や CATV、光ファイバー（FTTH）などのインターネット網と、家庭・オフィスの LAN（内部ネットワーク）を中継する機器です。複数台のパソコンから同時にインターネットに接続することができるようになります。ルーターには、接続した各機器に自動で IP アドレスを割り当てる DHCP 機能や、LAN 内の独自の IP アドレス（プライベート IP アドレス）を持つ機器に、必要に応じてインターネット用の IP アドレス（グローバル IP アドレス）を割り当てる NAT 機能があります。

さらにインターネット接続に必要なプロトコルに対応していたり、インターネットからの不正なアクセスを防ぐセキュリティ機能なども持っています。

# ネットワークの設定

## 第2章 ネットワークで設定する ..... 2-2

### 概要 ..... 2-2

### IPアドレスとサブネットマスクを設定する ..... 2-3

- BRAdmin Professional を使用する (Windows のみ) ..... 2-3
- 操作パネルを使用する ..... 2-3
- その他の設定方法を使用する ..... 2-3

### ネットワークの設定を変更する ..... 2-4

- BRAdmin Professional を使用する (Windows のみ) ..... 2-4
- 操作パネルを使用する ..... 2-4
- Web ブラウザーを使用する ..... 2-4

### 操作パネルから設定を変更する ..... 2-5

- ボタンと液晶ディスプレイ ..... 2-5
- 操作パネル ..... 2-5
- 操作パネルから設定できる項目 ..... 2-5

### TCP/IP の設定 ..... 2-6

- TCP/IP オン / オフ ..... 2-7
- IP アドレス ..... 2-8
- サブネットマスク ..... 2-9
- ゲートウェイ ..... 2-10
- IP 取得リトライ回数 ..... 2-11
- IP 取得方法 ..... 2-12
- APIPA ..... 2-13
- IPv6 ..... 2-14

### NetBIOS/IP の設定 ..... 2-15

### イーサネットモード ..... 2-16

### ネットワーク設定リセット ..... 2-17

### 設定一覧の印刷 ..... 2-18

## 第3章 Web ブラウザーで管理する ..... 3-1

### 概要 ..... 3-1

### Web ブラウザーを使用して本機に接続する方法 ..... 3-2

# 第2章 ネットワークで設定する

## 概要

---

ネットワーク環境で本機を使用する前に、TCP/IP の設定をする必要があります。  
この章では、TCP/IP プロトコルを使用して、ネットワーク上で印刷するために必要な基本手順について説明します。

本機を LAN に接続するには、付属の CD-ROM の自動インストーラーを使用することをお勧めします。「クイックセットアップガイド」の手順に従ってプリンタードライバーのインストールを進めると、簡単に本機をネットワークに接続することができます。

CD-ROM の自動インストーラーを使用せずに本機を設定する場合は、この章を参照して TCP/IP の設定をしてください。

そのあと、「第4章」「第5章」「第6章」(Windows の場合)、または「第7章」「第8章」(Macintosh の場合)を参照して、ネットワーク印刷ソフトウェアやプリンタードライバーのインストールを行ってください。

# IP アドレスとサブネットマスクを設定する

---

## ● BRAdmin Professional を使用する (Windows のみ)

BRAdmin Professional を使用して、本機のネットワークに関する項目を設定することができます。詳細は、「第 6 章 BRAdmin Professional で管理する」[P.6-1](#) を参照してください。

## ● 操作パネルを使用する

操作パネルの「ネットワーク」メニューを使用して、本機のネットワークに関する項目を設定することができます。詳細は、「操作パネルから設定を変更する」[P.2-5](#) を参照してください。

## ● その他の設定方法を使用する

他の方法を用いて、本機を設定することもできます。詳細は、「操作パネル以外から IP アドレスを設定する」[P.10-1](#) を参照してください。

# ネットワークの設定を変更する

## ● BRAdmin Professional を使用する (Windows のみ)

**1** [スタート] メニューから [すべてのプログラム (プログラム)] – [FUJI XEROX Administrator Utilities] – [FUJI XEROX BRAdmin Professional Utilities] – [BRAdmin Professional] の順にクリックします。  
BRAdmin Professional が起動します。

**2** ウィンドウの左側のフレームにある「フィルター」の「TCP/IP」を選びます。

**3** ウィンドウの右側のフレームから設定したいプリントサーバーを選びます。

**4** [コントロール] メニューから [プリントサーバー設定] を選びます。

**5** パスワードを入力します。



お買い上げ時のパスワードは、“access” です。

**6** プrintサーバー設定を変更します。

## ● 操作パネルを使用する



操作パネルの「ネットワーク」メニューを使用して、本機のネットワークに関する項目を設定、または変更することができます。詳細は、「操作パネルから設定を変更する」[P.2-5](#) を参照してください。

## ● Web ブラウザーを使用する

Web ブラウザーを使用して、本機のネットワークに関する項目を設定、または変更することができます。詳細は、「第 3 章 Web ブラウザーで管理する」[P.3-1](#) を参照してください。



# 操作パネルから設定を変更する

操作パネルは、さまざまなボタン（やなど）と液晶ディスプレイから構成されています。この章では、操作パネルを使用して、ネットワークの設定をする方法について説明します。





## ● ボタンと液晶ディスプレイ

パソコンから操作しなくても、操作パネルのボタンを使って本機のネットワークの設定項目を変更できます。液晶ディスプレイには、現在の設定内容や選べる項目名が表示されます。

## ● 操作パネル

操作パネルは、各設定項目を表示したり、などで選択した設定値を表示します。操作パネルは1行16文字で表示されます。

操作パネルを使用すれば、「ネットワーク」モードの設定メニューを通じてネットワーク設定をすることができます。

「インサツデキマス」と表示されているときに、//のいずれかを押し、で「ネットワーク」モードを選択してください。

ネットワーク

## ● 操作パネルから設定できる項目

本機の操作パネルを使って、以下の項目を設定できます。

メニュー名と項目名		参照先
TCP/IP	TCP/IP オン / オフ	<a href="#">P.2-7</a>
	IP アドレス	<a href="#">P.2-8</a>
	サブネットマスク	<a href="#">P.2-9</a>
	ゲートウェイ	<a href="#">P.2-10</a>
	IP 取得リトライ回数	<a href="#">P.2-11</a>
	IP 取得方法	<a href="#">P.2-12</a>
	APIPA	<a href="#">P.2-13</a>
	IPv6	<a href="#">P.2-14</a>
NetBIOS/IP		<a href="#">P.2-15</a>
イーサネットモード		<a href="#">P.2-16</a>
ネットワーク設定リセット		<a href="#">P.2-17</a>
設定一覧の印刷		<a href="#">P.2-18</a>



- Windows をお使いの場合は、付属の CD-ROM に収録されている「BRAdmin Professional」を使用して設定することもできます。[P.6-1](#)
- Mac OS X をお使いの場合は、ドライバーインストールと同時にインストールされる「BRAdmin Light」を使用して設定することもできます。[P.8-1](#)
- Web ブラウザーを使用して設定することもできます。[P.3-1](#)

# TCP/IP の設定

TCP/IP を使用して印刷するには、本機に IP アドレスを設定します。  
パソコンと同じネットワーク上に本機が接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。ルーターの先に本機が接続されている場合は、ルーターのアドレス（ゲートウェイ）も設定します。



本機のお買い上げ時の設定は、以下のとおりです。

- IP アドレス：169.254.xxx.xxx（APIPA 機能による自動割り当て）



- DHCP、BOOTP、RARP または APIPA 機能を使用していない場合は、お買い上げ時の IP アドレスは 192.0.0.192 になります。
- DHCP、BOOTP、RARP または APIPA 機能を使用しない場合は、自動的に IP アドレスを取得しないように設定してください。操作パネルから設定する方法は、「IP 取得方法」[P.2-12](#) を参照してください。パソコンから設定する場合は、BRAdmin Professional や BRAdmin Light、Web ブラウザーを使用して、IP の設定方法を手動（static（固定））に設定します。

このメニューは 8 つの項目で構成されています。

- TCP/IP オン / オフ
- IP アドレス
- サブネットマスク
- ゲートウェイアドレス
- IP 取得リトライ回数
- IP 取得方法
- APIPA
- IPv6







## TCP/IP を設定する他の方法

- BRAdmin Professional を使用する場合は、「ネットワークインターフェイスを設定する」[P.6-2](#) を参照してください。
- TCP/IP を設定するその他の方法は、「IP アドレスの設定方法」[P.10-2](#) を参照してください。




# ● TCP/IP オン / オフ

TCP/IP を使用してネットワークに接続するときは「オン」に設定します。

- 1** 、、、 のいずれかを押します。  
オフラインに切り替わり、モードが表示されます。

インサツデ キマス

▼  
インフォメーション

- 2**  または  を押して【ネットワーク】を選択し、 を押します。




ネットワーク

▼  
TCP/IP

- 3**  または  を押して【TCP/IP】を選択し、 を押します。

TCP/IP

▼  
TCP/IP オン / オフ




- 4**  または  を押して【TCP/IP オン / オフ】を選択し、  
 を押します。

TCP/IP オン / オフ

▼  
= オン \*

液晶ディスプレイの右端に【\*】が表示されます。【\*】は現在の設定値を示します。


お買い上げ時は【=オン】になっています。

- 5**  または  を押して【オン】または【オフ】を選択し、  
 を押します。

= オン

▼  
= オフ \*

TCP/IP の設定が確定されます。

- 6**  を押します。

設定メニューを終了します。







設定を変更した場合は、電源を入れ直したあとに設定が有効になります。

## ● IP アドレス

本機の現在の IP アドレスが表示されます。お買い上げ時は APIPA により自動的に割り当てられます。IP アドレスを変更する場合は、「IP セッテイホウホウ」(IP 取得方法)を「コテイ」(STATIC)に指定してください。

「コテイ」(STATIC) 以外の「IP セッテイホウホウ」(IP 取得方法)が選択されている場合は、DHCP または BOOTP のプロトコルを使用して IP アドレスを自動的に取得します。




「IP セッテイホウホウ」(IP 取得方法)が「オート」(AUTO)に設定されている場合、Windows 2000 の BOOTP サーバーから IP アドレスの取得ができないので、DHCP を使うようにしてください。

- 1** 、、、 のいずれかを押します。

オフラインに切り替わり、モードが表示されます。




インサデキス

▼

インフォメーション
- 2**  または  を押して【ネットワーク】を選択し、 を押します。




ネットワーク

▼

TCP/IP
- 3**  または  を押して【TCP/IP】を選択し、 を押します。

TCP/IP




▼

TCP/IP オン / オフ
- 4**  または  を押して【IP アドレス】を選択し、 を押します。

IP アドレスの第 1 ブロックの末尾が点滅表示されます。  
お買い上げ時は【169.254.xxx.xxx】(xxx は任意) または【0.0.0.0】(ケーブル未接続の場合) になっています。

IP アドレス =


▼

169. 254. 210. 242
- 5**  または  を押して第 1 ブロックの IP アドレスを変更し、 を押します。

次のブロック (右) にカーソルが移動します。


169. 254. 210. 242

▼

192. 254. 210. 242
- 6** 同様の手順で第 2 ブロック以降の IP アドレスを変更します。  
 を押すと、1 つ前のブロックにカーソルが移動します。

192. 254. 210. 242


▼

192. 168. 210. 242
- 7** IP アドレスの変更が完了したら、 を押します。

液晶ディスプレイの右端に【\*】が表示されます。【\*】は現在の設定値を示します。  
IP アドレスの設定が確定されます。

192. 168. 1. 3





▼

192. 168. 1. 3\*
- 8**  を押します。

設定メニューを終了します。

## ● サブネットマスク




本機が使用する現在のサブネットマスクを表示します。DHCP または BOOTP、APIPA を使用していない場合、サブネットマスクを手動で入力してください。設定するサブネットマスクについてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

- 1** 、、、 のいずれかを押します。

オフラインに切り替わり、モードが表示されます。




インサデ キマス

  
▼  

インフォメーション
- 2**  または  を押して【ネットワーク】を選択し、 を押します。




ネットワーク

  
▼  

TCP/IP
- 3**  または  を押して【TCP/IP】を選択し、 を押します。

TCP/IP




  
▼  

TCP/IP オン / オフ
- 4**  または  を押して【サブネットマスク】を選択し、 を押します。

サブネットマスクの第 1 ブロックの末尾が点滅表示されます。  
お買い上げ時は【255.255.0.0】または【0.0.0.0】（ケーブル未接続の場合）になっています。

サブ ネットマスク =


  
▼  

255. 255. 0. 0
- 5**  または  を押して第 1 ブロックのサブネットマスクを変更し、 を押します。

次のブロック（右）にカーソルが移動します。


255. 255. 0. 0

  
▼  

255. 255. 0. 0
- 6** 同様の手順で第 2 ブロック以降のサブネットマスクを変更します。  
 を押すと、1 つ前のブロックにカーソルが移動します。

255. 255. 0. 0


  
▼  

255. 255. 0. 0
- 7** サブネットマスクの変更が完了したら、 を押します。

液晶ディスプレイの右端に【\*】が表示されます。【\*】は現在の設定値を示します。  
サブネットマスクの設定が確定されます。

255. 255. 255. 0

  
▼  

255. 255. 255. 0\*
- 8**  を押します。

設定メニューを終了します。

## ● ゲートウェイ

本機が使用する、現在のゲートウェイ（ルーター）のアドレスを表示します。DHCP や BOOTP、APIPA を使用していない場合はアドレスを手動で指定します。ゲートウェイ（ルーター）を使用しない場合は初期値 (0.0.0.0) にしておいてください。アドレスが不明な場合はネットワーク管理者へお問い合わせください。

- 1** のいずれかを押します。

オフラインに切り替わり、モードが表示されます。

インサット キス

▼

インフォメーション
- 2** または を押して【ネットワーク】を選択し、 を押します。

ネットワーク

▼

TCP/IP
- 3** または を押して【TCP/IP】を選択し、 を押します。

TCP/IP

▼

TCP/IP 初 / 初
- 4** または を押して【ゲートウェイアドレス】を選択し、 を押します。

ゲートウェイアドレスの第 1 ブロックの末尾が点滅表示されます。  
お買い上げ時は【0.0.0.0】になっています。

ゲートウェイアドレス =

▼

0. 0. 0
- 5** または を押して第 1 ブロックのゲートウェイアドレスを変更し、 を押します。

次のブロック（右）にカーソルが移動します。

0. 0. 0

▼

0. 0. 0
- 6** 同様の手順で第2ブロック以降のゲートウェイアドレスを変更します。

を押すと、1 つ前のブロックにカーソルが移動します。

0. 0. 0

▼

0. 0. 0
- 7** ゲートウェイアドレスの変更が完了したら、 を押します。

液晶ディスプレイの右端に【\*】が表示されます。【\*】は現在の設定値を示します。  
ゲートウェイアドレスの設定が確定されます。

0. 0. 0. 0





▼

0. 0. 0. 0\*
- 8** を押します。

設定メニューを終了します。

## ● IP 取得リトライ回数




IP 取得時のリトライ回数を設定します。

- 1** , , ,  のいずれかを押します。

オフラインに切り替わり、モードが表示されます。




インサージェキス

  
▼  

インフォメーション
- 2** , または  を押して【ネットワーク】を選択し、 を押します。




ネットワーク

  
▼  

TCP/IP
- 3** , または  を押して【TCP/IP】を選択し、 を押します。

TCP/IP




  
▼  

TCP/IP オン / オフ
- 4** , または  を押して【IP セッテイリトライ】を選択し、  
 を押します。

IP セッテイリトライ

  
▼  


=3 \*

液晶ディスプレイの右端に【\*】が表示されます。【\*】は現在の設定値を示します。  
お買い上げ時は【3】になっています。
- 5** , または  を押してリトライ回数を変更し、 を押します。

=3

  
▼  





=5 \*

リトライ回数の設定が確定されます。
- 6**  を押します。

設定メニューを終了します。

## ● IP 取得方法




IP の取得方法を設定します。

- 1** 、、、 のいずれかを押します。

オフラインに切り替わり、モードが表示されます。




インサージェキス

  
▼  

インフォメーション
- 2**  または  を押して【ネットワーク】を選択し、 を押します。




ネットワーク

  
▼  

TCP/IP
- 3**  または  を押して【TCP/IP】を選択し、 を押します。

TCP/IP




  
▼  

TCP/IP オン / オフ
- 4**  または  を押して【IP セッテイホウホウ】を選択し、 を押します。

液晶ディスプレイの右端に【\*】が表示されます。【\*】は現在の設定値を示します。  
お買い上げ時は【オート】になっています。


IP セッテイホウホウ

  
▼  

= オート \*
- 5**  または  を押して【オート】、【コティ】、【RARP】、【BOOTP】、【DHCP】から選択し、 を押します。  
IP の取得方法の設定が確定されます。

= オート

  
▼  





= コティ \*
- 6**  を押します。

設定メニューを終了します。



## ● APIPA

DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバーを利用していない場合に、APIPA (AutoIP) 機能によって本機に IP アドレスを自動的に割り当てることができます。このとき、IP アドレスは 169.254.1.0 ~ 169.254.254.255 の範囲で割り当てられます。割り当てられた IP アドレスがお使いのネットワーク環境の IP アドレスの設定規則に適さない場合は、BRAdmin Professional や BRAdmin Light、操作パネルから IP アドレスを変更してください。[P.10-2](#)




- 1** 、、、 のいずれかを押します。

オフラインに切り替わり、モードが表示されます。

インサット キマス




▼

インフォメーション
- 2**  または  を押して【ネットワーク】を選択し、 を押します。

ネットワーク




▼

TCP/IP
- 3**  または  を押して【TCP/IP】を選択し、 を押します。

TCP/IP

▼

TCP/IP オン / オフ
- 4**  または  を押して【APIPA オン / オフ】を選択し、 を押します。




液晶ディスプレイの右端に【\*】が表示されます。【\*】は現在の設定値を示します。

お買い上げ時は【オン】になっています。

APIPA オン / オフ

▼


= オン \*
- 5**  または  を押して【オン】または【オフ】を選択し、 を押します。

= オン

▼

= オフ \*

APIPA の設定が確定されます。
- 6**  を押します。

設定メニューを終了します。







### IP アドレスの自動設定機能 (APIPA)

- APIPA プロトコルを使用していると、169.254.1.0 ~ 169.254.254.255 の範囲で自動的に IP アドレスが割り当てられます。  
サブネットマスク：255.255.0.0  
ゲートウェイ：0.0.0.0
- APIPA による割り当ては、使用しているネットワークでの IP アドレス設定規則に適さない場合があります。そのような場合は、APIPA 機能を無効にします。
- お買い上げ時は、APIPA プロトコルは使用可能に設定されています。

## ● IPv 6

本機は次世代インターネットプロトコル IPv 6 に対応しています。




**1** , , ,  のいずれかを押します。

オフラインに切り替わり、モードが表示されます。

インサージェキス

  
▼  




インフォメーション

**2** , または  を押して【ネットワーク】を選択し、 を押します。

ネットワーク

  
▼  




TCP/IP

**3** , または  を押して【TCP/IP】を選択し、 を押します。

TCP/IP

  
▼  

TCP/IP オン / オフ




**4** , または  を押して【IPv6 オン / オフ】を選択し、  
 を押します。

IPv6 オン / オフ

  
▼  

= オフ \*

液晶ディスプレイの右端に【\*】が表示されます。【\*】は現在の設定値を示します。  
お買い上げ時は【オフ】になっています。


**5** , または  を押して【オン】または【オフ】を選択し、  
 を押します。

= オフ

  
▼  

= オン \*

IPv6 の設定が確定されます。

**6**  を押します。





設定メニューを終了します。



設定を変更した場合は、電源を入れ直したあとに設定が有効になります。

# NetBIOS/IP の設定

本機は TCP/IP 上（NetBIOS 経由）で SMB（Server Message Block）をサポートしています。これにより、ネットワークの検索時に通常の Windows パソコン のように本機を表示させることができます。このように NetBIOS を使用した場合、Microsoft Network に接続しているパソコンの DOS アプリケーションから印刷することができます。




**1** 、、、 のいずれかを押します。

オフラインに切り替わり、モードが表示されます。

インサデキマス

▼




インフォメーション

**2**  または  を押して【ネットワーク】を選択し、 を押します。

ネットワーク

▼

TCP/IP




**3**  または  を押して【NETBIOS/IP オン / オフ】を選択し、 を押します。

NETBIOS/IP オン / オフ

▼

= オン \*

液晶ディスプレイの右端に【\*】が表示されます。【\*】は現在の設定値を示します。  
お買い上げ時は【オン】になっています。


**4**  または  を押して【オン】または【オフ】を選択し、 を押します。

= オン

▼

= オフ \*

NETBIOS/IP の設定が確定されます。

**5**  を押します。

設定メニューを終了します。



設定を変更した場合は、電源を入れ直したあとに設定が有効になります。

# イーサネットモード





イーサネットの転送速度を設定します。

この設定に対する変更を有効にするためには、本機の電源を入れ直す必要があります。



誤った設定をした場合、本機にアクセスできなくなることがあります。

1

、、、のいずれかを押します。




オフラインに切り替わり、モードが表示されます。

インサツデ キマス



インフォメーション

2



 または  を押して【ネットワーク】を選択し、 を押します。

ネットワーク



TCP/IP

3

 または  を押して【イーサネットモード】を選択し、

 を押します。

イーサネットモード



= オート


\*

液晶ディスプレイの右端に【\*】が表示されます。【\*】は現在の設定値を示します。

お買い上げ時は【オート】になっています。

4

 または  を押して【オート】、【100B-FD】、【100B-HD】、

【10B-FD】、【10B-HD】 から選択し、 を押します。

= オート



=100B-FD

\*

イーサネットモードの設定が確定されます。

5

 を押します。

設定メニューを終了します。

## ●イーサネットリンクモードについて

オート： 100Base-TX（全二重 / 半二重）、10Base-T（半二重）モードを自動接続により選択します。

100B-FD/100B-HD/10B-FD/10B-HD：それぞれのリンクモードに固定されます。







設定を変更した場合は、電源を入れ直したあとに設定が有効になります。

# ネットワーク設定リセット

現在のネットワーク設定をすべて初期化できます。

1

、、、のいずれかを押します。




オフラインに切り替わり、モードが表示されます。

インサッテ キマス



インフォメーション

2



 または  を押して【ネットワーク】を選択し、 を押します。

ネットワーク



TCP/IP

3

 または  を押して【コウジョウ リセット】を選択し、


 を押します。

コウジ ョウ リセット



OK?


4

再度  を押します。

設定メニューを終了します。



ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする他の方法

- BRAdmin Proffessional (Windows 専用) または BRAdmin Light (Macintosh 専用) を使用する。
- HTTP (Web ブラウザー) を使用する場合は、「Web ブラウザーで管理する」[P.3-1](#)  を参照してください。

# 設定一覧の印刷

本機の設定メニューと設定値は、次の方法で印刷します。


**1** 、、、のいずれかを押します。

オフラインに切り替わり、モードが表示されます。

インサツデ キマス




インフォメーション

**2** 【インフォメーション】が表示されていることを確認して、を押します。

インフォメーション



セッテイリスト インサツ

**3** 【セッテイリスト インサツ】が表示されていることを確認して、を押します。

設定メニューと設定値のリストが印刷されます。

セッテイリスト インサツ

# 第 3 章 Web ブラウザーで管理する

## 概要

標準の Web ブラウザーで、HTTP（Hyper Text Transfer Protocol）プロトコルを使用して、本機を管理できます。使用する Web ブラウザーは Netscape Navigator バージョン 7.1 以降または Internet Explorer バージョン 6.0 以降をお勧めします。

Web ブラウザーは、ほとんどのコンピューティングプラットフォーム上で使用できるので、Macintosh のユーザーも Web ブラウザーを使用して本機を管理できます。

Web ブラウザーを使用して、次の操作ができます。

1. 本機のステータス情報の取得
2. 本機のコントロールパネルの制御
3. 本機とネットワークのバージョン情報の取得
4. ネットワーク設定と本機の設定の変更

### ●条件

- パソコンが TCP/IP プロトコルを使用可能なこと
- パソコンに LAN ボードが装備され、ネットワークに接続可能なこと
- 本機とパソコンに有効な IP アドレスを設定していること

### ●設定の流れ

1. TCP/IP プロトコルによってパソコンがネットワーク接続されていることを確認します。
2. Web ブラウザーを起動し、アドレス入力欄に本機の IP アドレスを入力します。P.3-2

# Web ブラウザーを使用して本機に接続する方法

- 1** Web ブラウザーのアドレス入力欄に「http:// 本機の IP アドレス」と入力します。

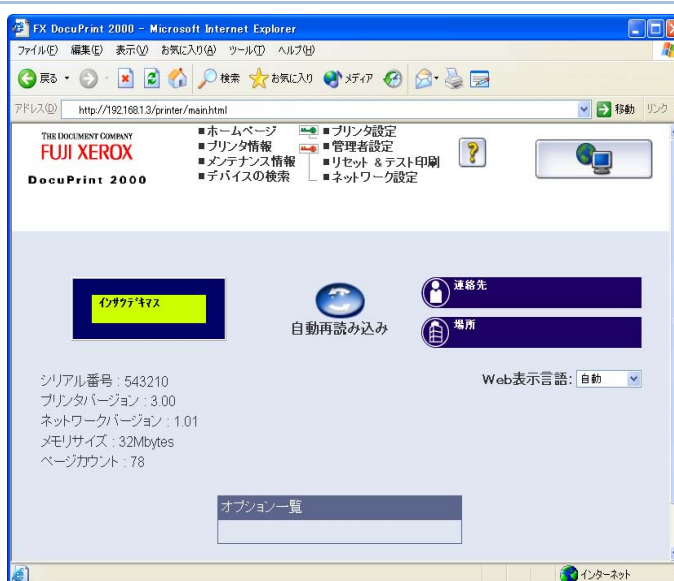


例) 本機の IP アドレスが 192.168.1.3  
の場合  
Web ブラウザーの入力欄に http://192.168.1.3 と入力します。

- Windows のドメイン / ワークグループ環境の場合は、本機の NetBIOS 名を使用することもできます。
- 本機が DNS サーバーに登録されている場合は、本機のホスト名を入力します。

- 2** 本機の設定画面が表示されます。  
使用したい管理機能へのリンクをクリックします。

- 本機の IP アドレスを変更する場合は、[ネットワーク設定] をクリックします。
- 本機の設定を表示する場合は、[プリンタ情報] をクリックします。



**メモ** 設定関連のリンクをクリックすると、パスワードの入力を要求されます。  
ユーザー名は“admin”、お買い上げ時のパスワードは“access”です。



# Windows 編

## 第 4 章 ネットワークプリンターとして使う .... 4-2

### LPR で印刷する..... 4-2

- Windows 2000/XP の場合 ..... 4-2
- Windows 95/98/Me の場合 ..... 4-8
- Windows NT4.0 の場合 ..... 4-14

### NetBIOS で印刷する ..... 4-17

- 概要 ..... 4-17
- ネットワークの設定 ..... 4-17
- TCP/IP プロトコルを追加する ..... 4-18
- FUJI XEROX ピアツーピア印刷 (NetBIOS) ソフトウェアのインストール ..... 4-18
- Windows 95/98/Me の場合 ..... 4-21
- Windows 2000/XP、Windows NT 4.0 の場合 ..... 4-24

## 第 5 章 インターネット印刷機能を使う ..... 5-1

### Windows 2000/XP の場合 ..... 5-1

- 別の URL を指定する ..... 5-3

## 第 6 章 BRAdmin Professional で管理する... 6-1

### BRAdmin Professional をインストールする ..... 6-1

### ネットワークインターフェイスを設定する ..... 6-2

# 第4章 ネットワークプリンターとして使う

## LPR で印刷する

### ● Windows 2000/XP の場合

「クイックセットアップガイド」の手順に従ってドライバーのインストールを進めると、自動的にネットワークの設定が完了します。インストーラーを使わずにプリンタードライバーのみインストールする場合は、以下の手順で設定してください。

Windows 2000/XP の場合は、標準でインストールされている TCP/IP というプロトコルを使用して、本機をネットワーク上で利用できます。

#### ● プロトコルとは

パソコン間の通信のルールです。

ネットワークにはさまざまなパソコンが接続されているため、それらの通信形式が違おうと互いの情報交換ができません。そこで作られたのが通信のプロトコルです。通信の開始から終了までの手順やデータサイズ、送受信方法などが細かく決められています。

#### ● TCP/IP とは

最もよく知られているプロトコルで、インターネットの通信で使用されています。

TCP/IP は、ファイルやプリンターの共有も行うことができます。ネットワーク内では、パソコンなどの機器の特定に IP アドレスが使用されています。

### ポートの追加とプリンターの関連付けを行う

「プリンタの追加ウィザード」で本機へのポートの追加とプリンタードライバーのインストールを行います。

すでにパソコンへプリンタードライバーをインストールしている場合は、「プリンタードライバーがすでにインストールされているときは」[P.4-7](#)を参照してください。

1

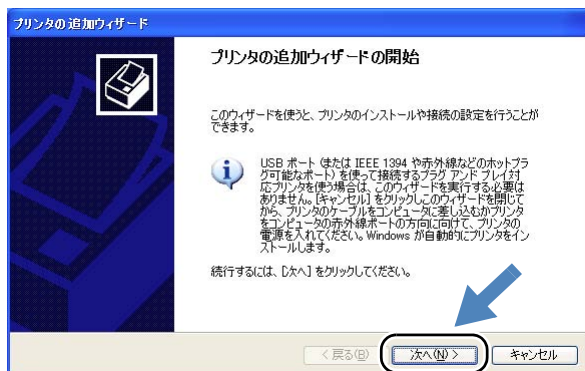
「スタート」メニューから「プリンタと FAX」を選び、「プリンタのインストール」をクリックします。

- Windows 2000 の場合は、「スタート」メニューから「設定」－「プリンタ」の順にクリックし、「プリンタの追加」をダブルクリックします。

「プリンタの追加ウィザード」が表示されます。

2

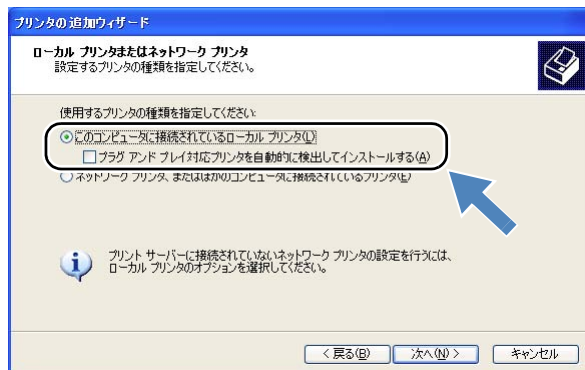
「次へ」をクリックします。



3

「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」をクリックし、「プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする」チェックボックスを OFF にします。

- Windows 2000 の場合は、「ローカルプリンタ」をクリックし、「プラグ アンド プレイプリンタを自動的に検出してインストールする」チェックボックスを OFF にします。

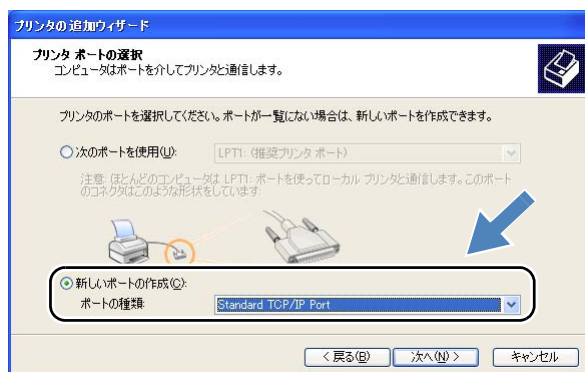


4

[次へ] をクリックします。

5

「新しいポートの作成」をクリックし、「ポートの種類」から「Standard TCP/IP Port」を選びます。

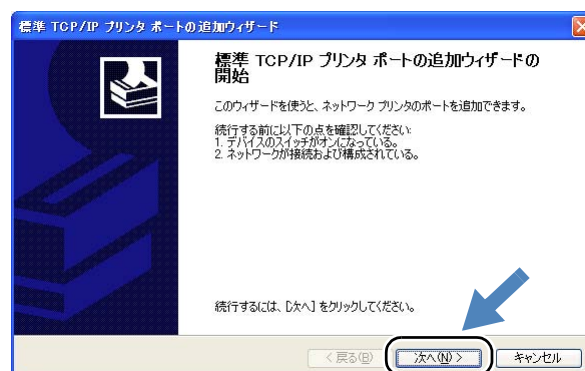


6

[次へ] をクリックします。  
「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」が表示されます。

7

[次へ] をクリックします。

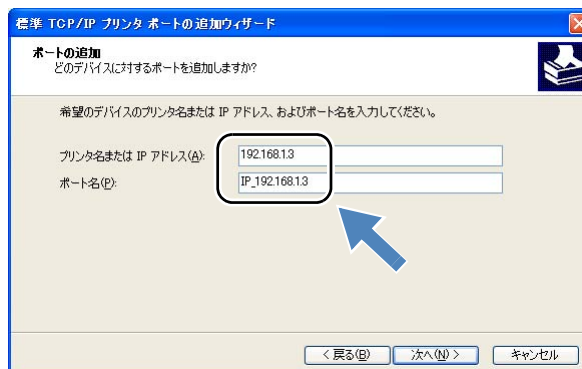


8

「プリンタ名または IP アドレス」に、本機の IP アドレスを入力します。  
「ポート名」は自動的に入力されます。

例) 192.168.1.3 の場合

IP アドレスを入力すると、ポート名には自動的に [IP\_192.168.1.3] が入力されます。



本機の IP アドレスが DHCP など自動的に割り当てられている場合は、IP アドレスが自動的に変更されることがあるため、ノード名で設定することをお勧めします。本機のノード名は、BRAdmin Professional または設定一覧 [IP-2-18](#) で確認できます。

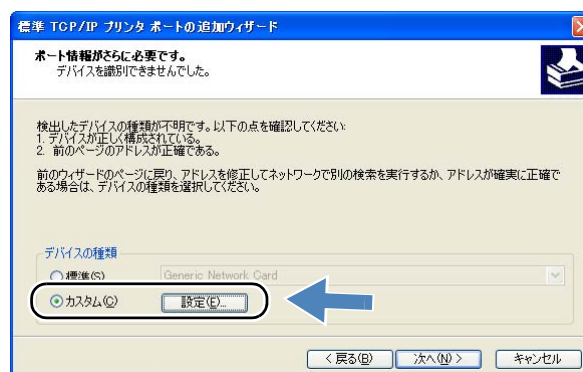
9

「次へ」をクリックします。

入力した IP アドレスが間違っている場合はエラーメッセージが表示されます。  
正しい内容を入力し直してください。

10

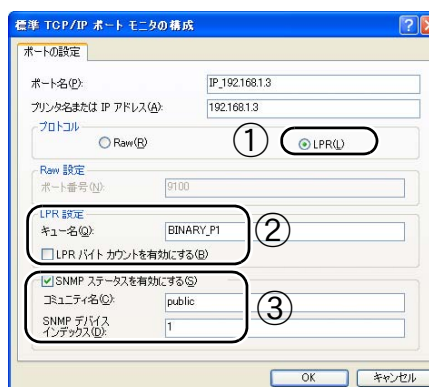
「カスタム」を選び、「設定」をクリックします。



11

TCP/IP ポートを以下のように設定し、[OK] をクリックします。

- ① プロトコル：LPR
- ② LPR 設定
  - キュー名：BINARY\_P1
  - LPR バイトカウントを有効にする：チェックボックス OFF
- ③ SNMP ステータスを有効にする：チェックボックス ON
  - コミュニティ名：public
  - SNMP デバイスインデックス：1

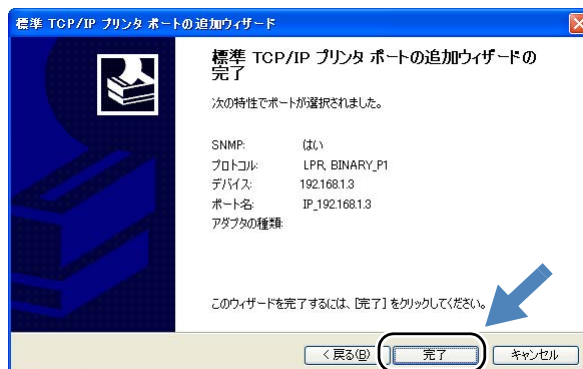


12

「次へ」をクリックします。

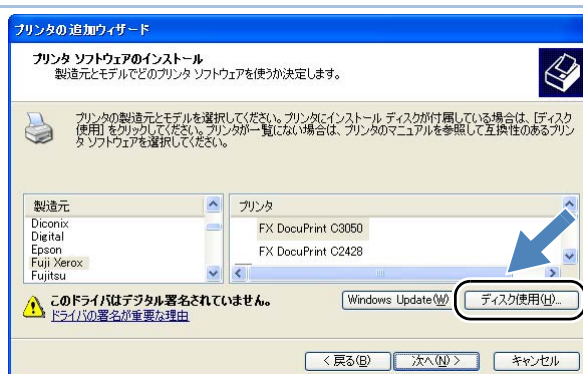
13

[完了] をクリックします。  
「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」が終了し、「プリンタの追加ウィザード」に戻ります。



14

[ディスク使用] をクリックします。



15

付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットし、[参照] をクリックします。

16

「ファイルの場所」から CD-ROM ドライブを選び、本機のプリンタードライバーの保存フォルダー「\*Driver\*PCL\*Win2k\_xp」を選びます。

17

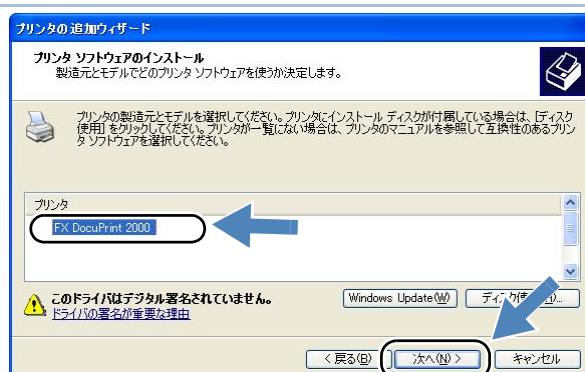
[開く] をクリックします。

18

[OK] をクリックします。

19

プリンターのリストからお使いのモデル名を選び、[次へ] をクリックします。



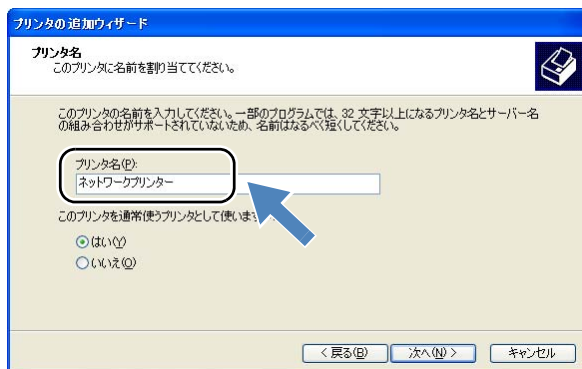


- パソコンがインターネットに接続されている場合は、[Windows Update] をクリックし、Microsoft 社のホームページからプリンタードライバーを直接ダウンロードすることもできます。
- すでにプリンタードライバーがインストールされている場合は、現在のドライバーを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。  
「現在のドライバを使う（推奨）」を選び、[次へ] をクリックします。

20

必要に応じて、「プリンタ名」を変更します。

例) ネットワークプリンター

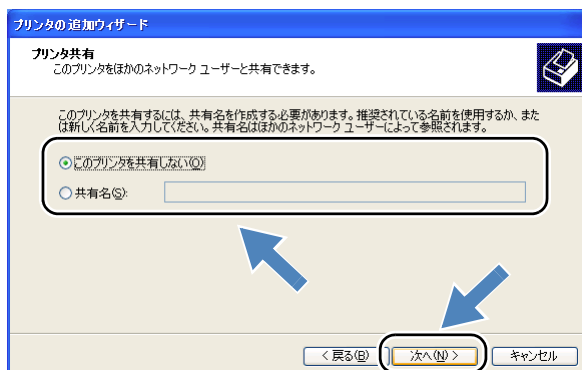


21

複数のプリンタードライバーがインストールされている場合は、本機を通常使うプリンターとして使うかどうかを選び、[次へ] をクリックします。

22

本機を共有するかどうかを選び、共有する場合は「共有名」を入力して、[次へ] をクリックします。

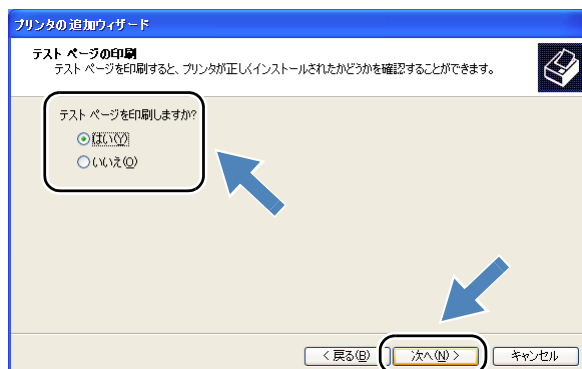


共有した場合は、必要に応じて「場所」と「コメント」を入力して、[次へ] をクリックします。

23

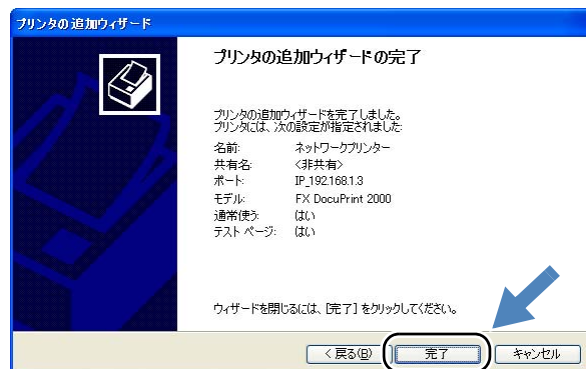
テストページを印刷するかどうかを選び、[次へ] をクリックします。

- [はい] を選んだ場合は、正しく印刷されたか確認してください。
- [いいえ] を選んだ場合は、あとでテスト印刷を行い、正しく印刷されるか確認してください。



24

[完了] をクリックします。  
「プリンタの追加ウィザード」での設定が終了しました。



### プリンタドライバがすでにインストールされているときは

以下の手順でポートの追加と本機の関連付けをします。

- ① [スタート] メニューから [プリンタと FAX] をクリック (Windows 2000 の場合は、[スタート] メニューから [設定] - [プリンタ] の順にクリック) し、設定するプリンタをクリックします。
- ② [ファイル] メニューから [プロパティ] を選びます。
- ③ [ポート] タブをクリックし、[ポートの追加] をクリックします。
- ④ [Standard TCP/IP Port] を選び、[新しいポート] をクリックします。  
「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」が表示されます。
- ⑤ 「ポートの追加とプリンタの関連付けを行う」の手順 7 ~ 13 **P.4-3** を実行します。



## ● Windows 95/98/Me の場合

Windows 95/98/Me の場合は、TCP/IP プロトコルをパソコンに追加し、付属の CD-ROM から「FUJI XEROX ピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェア」をインストールします。

### TCP/IP プロトコルを追加する

Windows 95/98/Me へ TCP/IP プロトコルを追加します。

「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックして「ネットワークの設定」タブをクリックします。「現在のネットワークコンポーネント」に「TCP/IP」がないときには、以下の手順に従って追加してください。

すでに「TCP/IP」があるときは、「FUJI XEROX ピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアのインストール」[P.4-9](#)へ進みます。

**1** 「スタート」メニューから「設定」－「コントロールパネル」を選び、「ネットワーク」をダブルクリックします。

**2** 「ネットワークの設定」タブで、「追加」をクリックします。

**3** 「プロトコル」を選び、「追加」をクリックします。

**4** 「製造元」で「Microsoft」を選び、「ネットワークプロトコル」で「TCP/IP」をクリックします。

**5** 「OK」をクリックします。  
「現在のネットワークコンポーネント」に「TCP/IP」が追加されます。



必要なファイルをコピーするため Windows 95/98/Me のディスクを挿入する指示が表示された場合は、指示に従ってフロッピーディスクまたは CD-ROM を挿入してください。

**6** 「現在のネットワークコンポーネント」の「TCP/IP」を選び、「プロパティ」をクリックします。

**7** IP アドレスなどの必要な項目を設定し、「OK」をクリックします。  
入力する情報がわからない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

**8** 「OK」をクリックします。  
再起動を促すメッセージが表示されます。

**9** 「はい」をクリックします。  
パソコンが再起動し、TCP/IP が追加されます。



## FUJI XEROX ピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアのインストール

FUJI XEROX ピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアをインストールします。

1

付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

- メニューが表示されないときは「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「start.exe」をダブルクリックします。

2

「その他のインストール」をクリックします。

3

「ネットワーク印刷ソフトウェア」をクリックします。  
ネットワーク印刷ソフトウェアインストールプログラムが起動します。

4

「次へ」をクリックします。



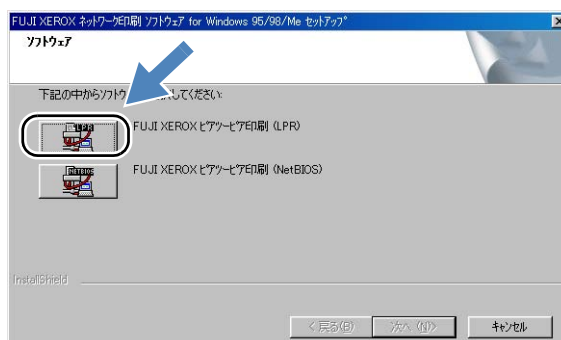
5

製品ライセンス契約画面の内容をよく読み、「はい」をクリックします。



6

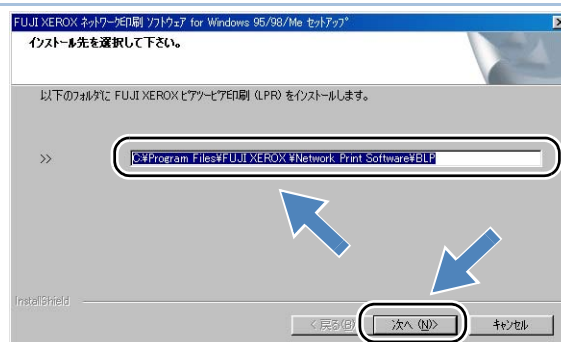
「FUJI XEROX ピアツーピア印刷（LPR）」をクリックします。



7

ファイルをインストールするフォルダーを確認し、[次へ] をクリックします。

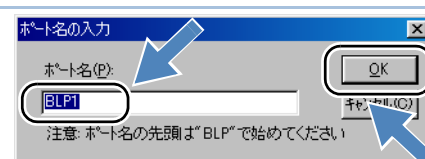
- 変更する場合は、インストールするフォルダーのパスを入力します。
- フォルダーが存在しない場合は、新しくフォルダーが作成されます。



8

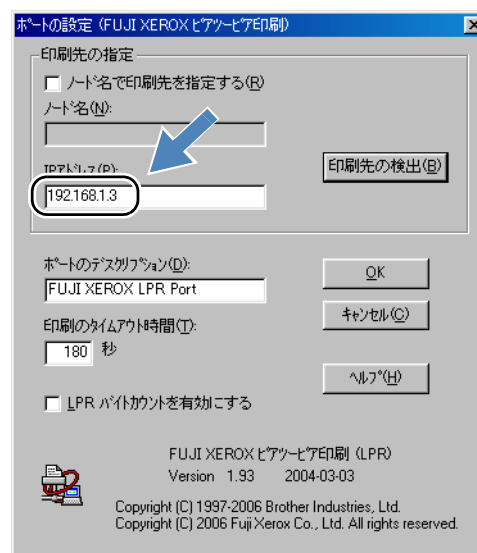
使用するポート名を確認し、[OK] をクリックします。

別のポート名を使用する場合は、必ず「BLPx」(x は任意の数字) にしてください。



9

「IPアドレス」に、本機のIPアドレスを入力します。  
例) 192.168.1.3



本機の IP アドレスが DHCP など自動的に割り当てられている場合は、IP アドレスが自動的に変更されることがあるため、ノード名で設定することをお勧めします。本機のノード名は、BRAdmin Professional または設定一覧 [P.2-18](#) で確認できます。

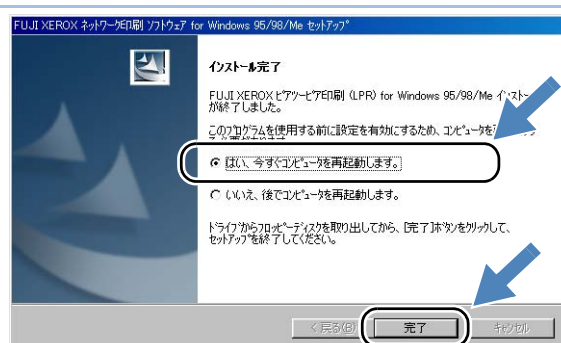
10

[OK] をクリックします。

11

「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選び、[完了] をクリックします。

パソコンが再起動し、FUJI XEROX ピアツーピア印刷 (LPR) ソフトウェアのインストールが完了します。

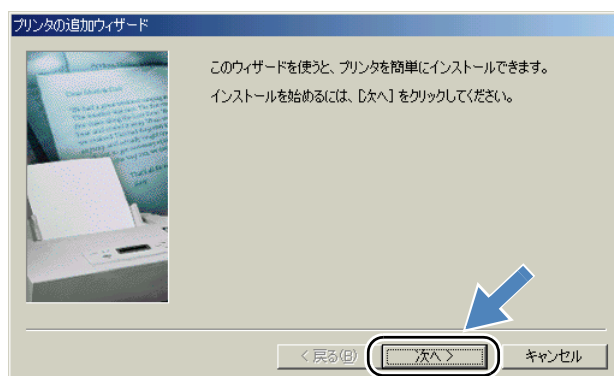


## プリンターの関連付け

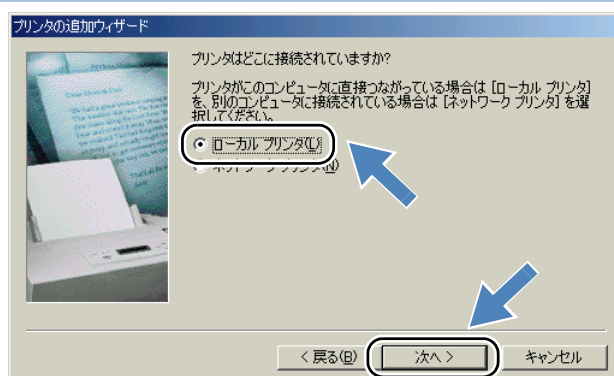
「プリンターの追加ウィザード」で追加したポートと本機の関連付けを行います。

- 1 「[スタート] メニューから [設定] - [プリンタ] の順にクリックし、「プリンタの追加」をダブルクリックします。  
「プリンタの追加ウィザード」が表示されます。

- 2 「次へ」をクリックします。



- 3 「ローカルプリンタ」を選び、「次へ」をクリックします。



- 4 「ディスク使用」をクリックします。



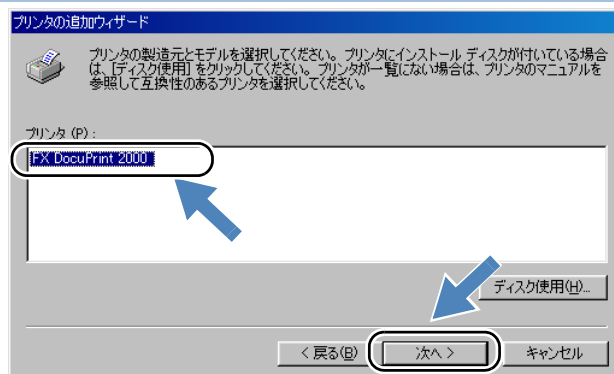
- 5 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットし、[参照]をクリックします。

- 6 「ファイルの場所」から CD-ROM ドライブを選び、本機のプリンタードライバーの保存フォルダー「%Driver%PCL%Win98\_me」を選びます。

- 7 「開く」をクリックします。

8 [OK] をクリックします。

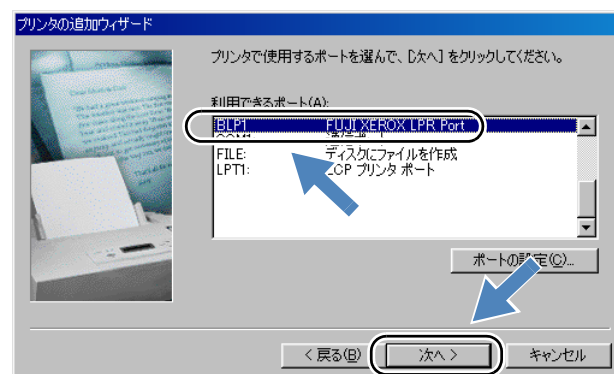
9 プリンターのリストからお使いのモデル名を選び、[次へ] をクリックします。



- パソコンがインターネットに接続されている場合は、[Windows Update] をクリックし、Microsoft 社のホームページからプリンタードライバーを直接ダウンロードすることもできます。
- すでにプリンタードライバーがインストールされている場合は、現在のドライバーを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。  
「現在のドライバを使う (推奨)」を選び、[次へ] をクリックします。

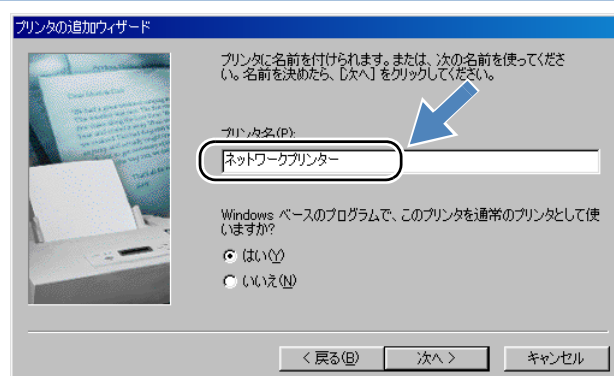
10 「FUJI XEROX ピアツーピア印刷 (LPR) ソフトウェアのインストール」の手順 8 で設定したポートを選択し、[次へ] をクリックします。

例) BLP1



11 必要に応じて「プリンタ名」を変更します。

例) ネットワークプリンター



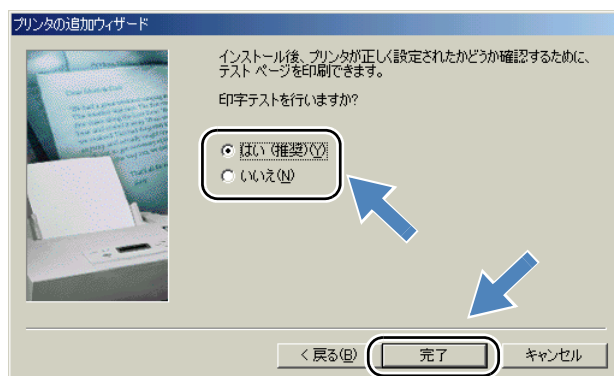
12

複数のプリンタドライバがインストールされている場合は、本機を通常使うプリンタとして使うかどうかを選び、[次へ] をクリックします。  
テスト印刷をするかどうかの確認メッセージが表示されます。

13

テストページを印刷するかどうかを選び、[完了] をクリックします。

- [はい] を選んだ場合は、正しく印刷されたか確認してください。
- [いいえ] を選んだ場合は、あとでテストページが正しく印刷されるか確認してください。



#### ピアツーピア印刷ポートをさらに追加するときは













ピアツーピア印刷ポートを追加するときは、ピアツーピア印刷 (LPR) ソフトウェアの再インストールは必要ありません。以下の手順で追加できます。

- ① [スタート] メニューから [設定] - [プリンタ] の順にクリックし、設定するプリンタを選びます。
- ② [ファイル] メニューから [プロパティ] をクリックします。
- ③ [詳細] タブをクリックし、[ポートの追加] をクリックします。
- ④ [ポートの追加] の [その他] をクリックし、「FUJI XEROX LPR Port」を選びます。
- ⑤ [OK] をクリックします。  
[ポート名の入力] が表示されます。
- ⑥ 「FUJI XEROX ピアツーピア印刷 (LPR) ソフトウェアのインストール」の手順 8 ~ 11 **P.4-10** を実行します。

## ● Windows NT4.0 の場合

### TCP/IP プロトコルを追加する

TCP/IP プロトコルがインストールされていない場合は、下記の手順でインストールしてください。  
すでに TCP/IP プロトコルがインストールされている場合は、「FUJI XEROX ピアツーピア印刷 (LPR) ソフトウェアのインストール」[P.4-15](#) へ進みます。

-  **1** [スタート] メニューから [設定] - [コントロールパネル] をクリックし、[ネットワーク] をダブルクリックします。  
[ネットワーク] が表示されます。
-  **2** [プロトコル] タブをクリックし、[追加] をクリックします。
-  **3** [TCP/IP プロトコル] を選択し、[OK] をクリックします。
-  **4** Windows NT 4.0 セットアップ用の CD-ROM を挿入し、[続行] をクリックします。
  - ご使用のパソコンが Windows NT 4.0 プリインストールモデルの場合は、[ディスクを使用] をクリックし、パソコン付属のリカバリー CD-ROM の ¥i386 フォルダを指定してください。  
必要なデータがコピーされ、[プロトコル] タブに [TCP/IP プロトコル] が追加されます。
-  **5** [サービス] タブをクリックし、[追加] をクリックします。
-  **6** [Microsoft TCP/IP 印刷] を選択し、[OK] をクリックします。
-  **7** Windows NT 4.0 セットアップ用の CD-ROM を挿入し、[続行] をクリックします。
  - ご使用のパソコンが Windows NT 4.0 プリインストールモデルの場合は、[ディスクを使用] をクリックし、パソコン付属のリカバリー CD-ROM の ¥i386 フォルダを指定してください。  
必要なデータがコピーされ、[サービス] タブに [Microsoft TCP/IP 印刷] が追加されます。
-  **8** [プロトコル] タブをクリックします。
-  **9** [TCP/IP プロトコル] を選択し、[プロパティ] をクリックします。
-  **10** ホスト IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ アドレスを設定し、[OK] をクリックします。  
入力する情報がわからない場合は、システム管理者にお問い合わせください。
-  **11** [OK] をクリックします。  
再起動を促すメッセージが表示されます。
-  **12** [はい] をクリックします。  
パソコンが再起動されます。  
これで、TCP/IP プロトコルは追加されました。

## FUJI XEROX ピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアのインストール

FUJI XEROX ピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアをインストールします。

**1**

付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

- メニューが表示されないときは「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「start.exe」をダブルクリックします。

**2**

「その他のインストール」を選択します。

**3**

「ネットワーク印刷ソフトウェア」をクリックします。

ネットワーク印刷ソフトウェアインストールプログラムが起動します。

**4**

「次へ」をクリックします。

**5**

製品ライセンス契約画面の内容をよく読み、「はい」をクリックします。

**6**

「FUJI XEROX ピアツーピア印刷（LPR）」をクリックします。

**7**

ファイルをインストールするフォルダーを入力し、「次へ」をクリックします。

- フォルダーが存在しない場合は、新しくフォルダーが作成されます。

**8**

使用するポート名を入力し、「OK」をクリックします。

お買い上げ時のポート名は「BLP1」です。別のポート名を使用する場合は、必ず「BLPx」（x は任意の数字）にしてください。

**9**

「IP アドレス」に、印刷したいプリンターの IP アドレスを入力します。

例) 192.168.1.3



本機を DNS サーバー、またはパソコンの hosts ファイルに登録した場合は、IP アドレスではなく、本機のホスト名を入力します。本機は、NetBIOS 名をサポートしているため、本機の NetBIOS 名を入力することもできます。NetBIOS 名はネットワーク設定一覧に表示されます。お買い上げ時の NetBIOS 名は「BRN\_xxxxxx」です。「xxxxxx」は MAC アドレスの末尾 6 桁です。

**10**

「OK」をクリックします。

**11**

「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択し、「完了」をクリックします。パソコンが再起動されます。

これで、FUJI XEROX ピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアのインストールは完了しました。「プリンターの関連付け」[P.4-16](#)へ進みます。



## プリンターの関連付け

作成したピアツーピア印刷（LPR）ポートに、プリンターの関連付けをします。

1

〔スタート〕メニューから〔設定〕－〔プリンタ〕の順にクリックし、〔プリンタの追加〕をダブルクリックします。

〔プリンタの追加ウィザード〕が表示されます。

2

〔このコンピュータ〕をクリックし、〔次へ〕をクリックします。



〔ネットワークプリンタサーバー〕を選択しないように、注意してください。

3

〔BLP1〕のチェックボックスを ON にし、〔次へ〕をクリックします。

4

使用するプリンタードライバーを指定します。

〔ディスク使用〕をクリックし、CD-ROM 上の保存場所「\*Driver\*PCL\*Winnt4」を参照します。プリンタのリストから、本機のプリンタードライバーを選択します。

5

〔次へ〕をクリックします。



すでにプリンタードライバーがインストールされている場合は、現在のドライバーを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。

〔現在のドライバを使う（推奨）〕を選択し、〔次へ〕をクリックします。既存のドライバーがない場合は、このメッセージは表示されません。

6

プリンターを他のユーザーと共有するかどうかを選択し、共有する場合は、〔共有名〕を入力します。印刷に使用するパソコンのオペレーティングシステムを選択し、〔次へ〕をクリックします。

7

テスト印刷をするかどうかを選択し、〔完了〕をクリックします。

- 〔はい〕を選択した場合は、正しく印刷されたか確認してください。
- 〔いいえ〕を選択した場合は、あとで正しく印刷されるか確認してください。

〔プリンタの追加ウィザード〕での設定が終了します。

これで、ローカルプリンターと同じように使用することができます。



### ピアツーピア印刷（LPR）ポートの追加

ピアツーピア印刷（LPR）ポートを追加するときは、ピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアの再インストールは必要ありません。次の手順で追加できます。

- ① 〔スタート〕メニューから〔設定〕－〔プリンタ〕の順にクリックし、設定するプリンターをクリックします。
- ② 〔ファイル〕メニューの〔プロパティ〕をクリックします。
- ③ 〔ポート〕タブをクリックし、〔ポートの追加〕をクリックします。
- ④ 〔FUJI XEROX LPR Port〕を選択し、〔新しいポート〕をクリックします。
- ⑥ 〔FUJI XEROX ピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアのインストール〕の手順 8 ～ 11

**P.4-15** を実行します。



## ● 概要

本機は、TCP/IP ベースの NetBIOS プロトコルを使用した印刷をサポートしています。NetBIOS に対応したネットワーク対応プリンターは、「ネットワークコンピュータ」として、通常の Windows パソコンと同じように表示され、ネットワークプリンターとして使用できます。

NetBIOS の場合は、ネットワークに接続されているパソコン上で動作している DOS アプリケーションからの印刷もできます。

## ● ネットワークの設定

NetBIOS ピアツーピアで印刷するには、本機に TCP/IP の IP アドレスを設定し、ドメイン名（ワークグループ名）をご使用のネットワーク環境に合わせた名称に変更します。

詳細は、「ネットワークインターフェイスを設定する」[P.6-2](#) を参照してください。

### ドメイン名について

ドメイン名（ワークグループ名）をご使用のネットワーク環境に合わせた名称に設定すると、ネットワークインターフェイスがそのドメイン（ワークグループ）の中の「ネットワークコンピュータ」として認識され、ネットワークプリンターとしてインストールすることができます。

この機能を使用するために特別なソフトウェアをインストールする必要はありません。

ただし、Windows 95/98/Me/2000/XP および Windows NT 4.0 で複数のパソコンから同時に印刷しようとすると、「プリンターが利用できません」のエラーメッセージが表示されることがあります。「ピアツーピア印刷（NetBIOS）ポートモニタ」ソフトウェアを使用すれば、使用中、電源が入っていない、用紙切れなどの場合にも、印刷ジョブのスプールを続行することができます。プリンターが利用できるようになるまで、ポートモニターによって、印刷ジョブがパソコン上に保留され、エラーメッセージは表示されません。

Windows 95/98/Me の場合、お買い上げ時のワークグループ名は、WORKGROUP になっていますが、任意の名前に変更することができます。

Windows NT 4.0 の場合は、ドメインというネットワークのまとまりで集中セキュリティ管理され、ワークグループで分散セキュリティ管理されています。

ネットワークプリンターでは、ネットワークの構成がワークグループでもドメインでも問題はありません。お買い上げ時のドメイン名（ワークグループ名）は「WORKGROUP」です。使用するパソコンが別の名称の場合は、本機も同じ名称に設定してください。

ドメイン名（ワークグループ名）の設定には、次の方法があります。

- BRAdmin Professional を使用する。[P.6-2](#)  
TCP/IP で動作します。
- Web ブラウザーを使用する。[P.3-2](#)  
本機とパソコンが TCP/IP で通信できることが必要です。



本機が「ネットワークコンピュータ」（Windows 2000/XP/Me の場合は「マイネットワーク」）に表示されるまでに数分かかることがあります。また、プリンターの電源を切った場合も、本機が「ネットワークコンピュータ」（Windows 2000/XP/Me の場合は「マイネットワーク」）から削除されるまでに、数分かかることがあります。これは Microsoft のワークグループまたはドメインをベースにしたネットワークの仕様であり、トラブルではありません。

## ● TCP/IP プロトコルを追加する

TCP/IP プロトコルがインストールされていない場合は、下記の手順でインストールしてください。

- Windows 2000/XP の場合（標準でインストールされています）
- Windows NT 4.0 の場合 **P.4-14**
- Windows 95/98/Me の場合 **P.4-8**

すでに TCP/IP プロトコルがインストールされている場合は、次の「FUJI XEROX ピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアのインストール」へ進みます。

## ● FUJI XEROX ピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアのインストール

FUJI XEROX ピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアをインストールします。

1

付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

- メニューが表示されないときは「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「start.exe」をダブルクリックします。

2

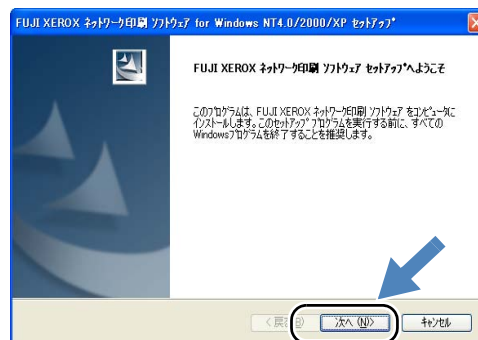
「その他のインストール」を選択します。

3

「ネットワーク印刷ソフトウェア」をクリックします。  
ネットワーク印刷ソフトウェアインストールプログラムが起動します。

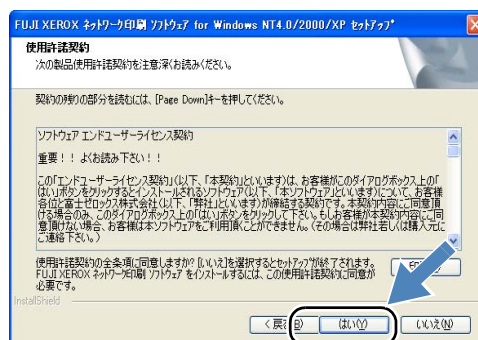
4

「次へ」をクリックします。



5

製品ライセンス契約画面の内容をよく読み、[はい] をクリックします。

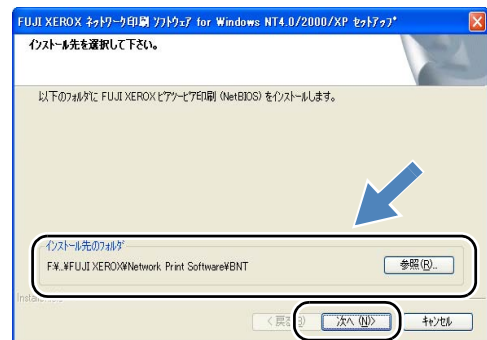


## 6 [FUJI XEROX ピアツーピア印刷 (NetBIOS)] をクリックします。



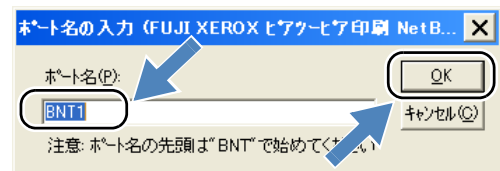
## 7 ファイルをインストールするフォルダーを入力し、[次へ] をクリックします。

- お買い上げ時のフォルダーから変更する場合は、[参照] をクリックしてフォルダーを指定します。
- フォルダーが存在しない場合は、新しくフォルダーが作成されます。



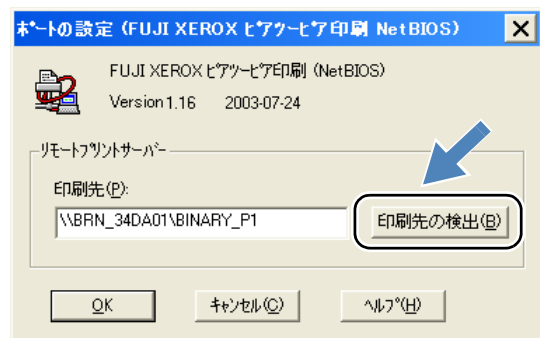
## 8 使用するポート名を入力し、[OK] をクリックします。

お買い上げ時のポート名は「BNT1」です。すでにこのポート名が使用されている場合は、エラーメッセージが表示されるので、別のポート名を入力してください。その際は必ずポート名を「BNTx」（x は任意の数字、例：「BNT2」）の形にしてください。



## 9 [印刷先の検出] をクリックします。

本機を検索します。  
表示されたドメイン（ワークグループ）から印刷に使用するプリンターとポートを選択してください。  
プリンターが表示されなかった場合は、プリンターのドメイン名（ワークグループ名）が正しく設定されているか確認してください。





印刷に使用するプリンターがまだネットワークに接続されていない場合には、[印刷先] を直接入力します。

[印刷先] は、\*\*NodeName\*ServiceName などのように、UNC (Universal Name Convention) に準拠している必要があります。

- NodeName は本機の NetBIOS 名で、お買い上げ時の設定は「BRN\_xxxxxx」(「xxxxxx」は MAC アドレスの末尾 6 桁) です。
  - ServiceName は本機の NetBIOS のサービス名で、お買い上げ時は「BINARY\_P1」です。
- 例) \*\*BRN\_34DA01\*BINARY\_P1

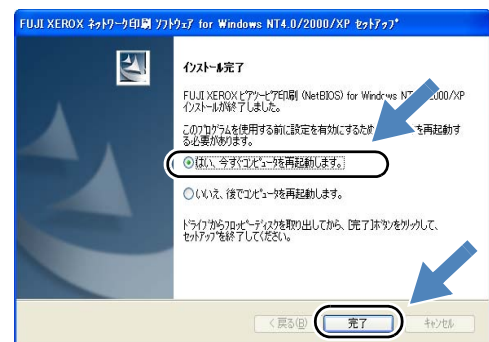
## 10

[OK] をクリックします。

## 11

「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択し、[完了] をクリックします。パソコンが再起動されます。

これで、FUJI XEROX ピアツーピア印刷 (NetBIOS) ソフトウェアのインストールは完了しました。



- Windows 95/98/Me の場合は、「プリンターの関連付け」[P.4-21](#) へ進みます。
- Windows 2000/XP、Windows NT 4.0 の場合は、「プリンターの関連付け」[P.4-24](#) へ進みます。

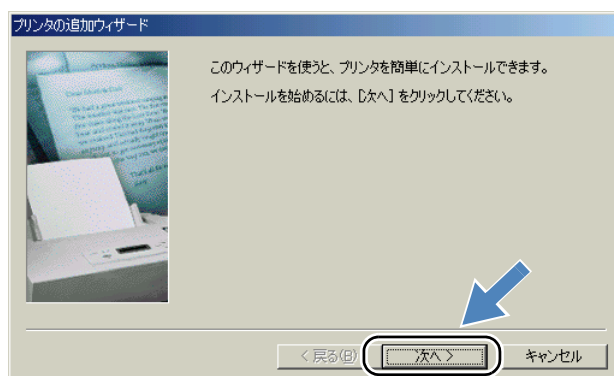
## ● Windows 95/98/Me の場合

### プリンターの関連付け

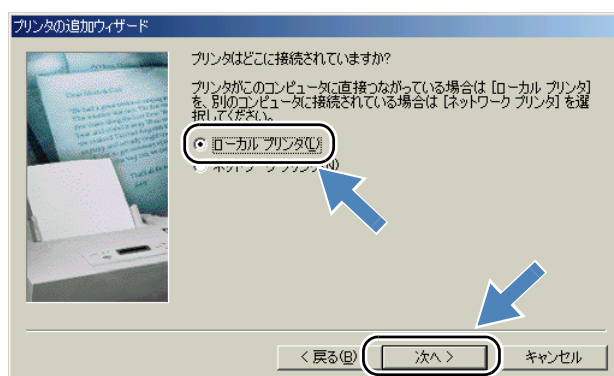
作成したピアツーピア印刷（NetBIOS）ポートに、プリンターの関連付けをします。

- 1 [スタート] メニューから [設定] - [プリンタ] の順にクリックし、[プリンタの追加] をダブルクリックします。  
[プリンタの追加ウィザード] が表示されます。

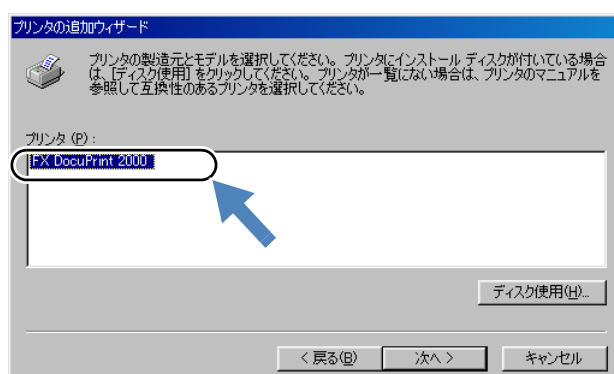
- 2 [次へ] をクリックします。



- 3 [ローカルプリンタ] をクリックし、[次へ] をクリックします。



- 4 使用するプリンタードライバーを指定します。  
[ディスク使用] をクリックし、CD-ROM 上の保存場所「\*Driver\*PCL\*Win98\_me」を参照します。  
プリンターのリストから、本機のプリンタードライバーを選択します。



- 5 [次へ] をクリックします。

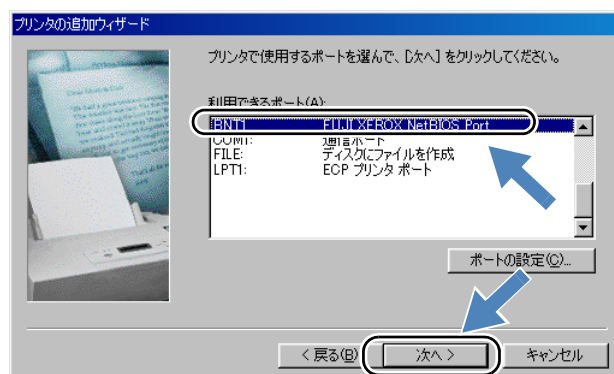


すでにプリンタードライバーがインストールされている場合は、現在のドライバーを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。

[現在のドライバを使う (推奨)] を選択し、[次へ] をクリックします。既存のドライバーがない場合は、このメッセージは表示されません。

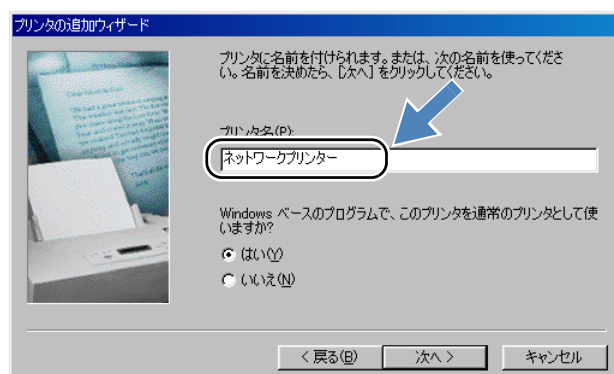
6

「FUJI XEROX ピアツーピア印刷 (NetBIOS) ソフトウェアのインストール」の手順 9 で作成したポートを選択し、[次へ] をクリックします。  
例) BNT1



7

必要に応じて [プリンタ名] を変更します。  
例) ネットワークプリンター



8

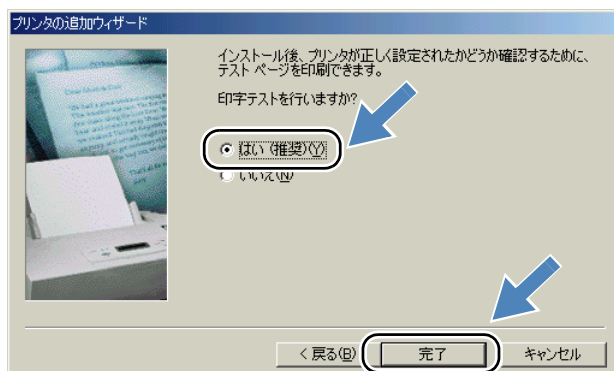
複数のプリンタードライバーがインストールされている場合は、このプリンターを通常使うプリンターとして使うかどうかを選択し、[次へ] をクリックします。  
テスト印刷をするかどうかの確認メッセージが表示されます。

9

テスト印刷をするかどうかを選択し、[完了] をクリックします。

- [はい] を選択した場合は、正しく印刷されたか確認してください。
- [いいえ] を選択した場合は、あとで正しく印刷されるか確認してください。

これで、ローカルプリンターと同じように使用することができます。





#### ピアツーピア印刷 (NetBIOS) ポートの追加

ピアツーピア印刷 (NetBIOS) ポートを追加するときは、ピアツーピア印刷 (NetBIOS) ソフトウェアの再インストールは必要ありません。次の手順で追加できます。

- ① [スタート] メニューから [設定] - [プリンタ] の順にクリックし、設定するプリンターをクリックします。
- ② [ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。
- ③ [詳細] タブをクリックし、[ポートの追加] をクリックします。
- ④ [ポートの追加] の [その他] をクリックし、[FUJI XEROX NetBIOS Port] を選択します。
- ⑤ [OK] をクリックします。  
[ポート名の入力] が表示されます。
- ⑥ 「FUJI XEROX ピアツーピア印刷 (NetBIOS) ソフトウェアのインストール」 の手順 8 ~ 10 **P.4-19** を実行します。



## ● Windows 2000/XP、Windows NT 4.0 の場合

### プリンターの関連付け

作成したピアツーピア印刷（NetBIOS）ポートに、プリンターの関連付けをします。

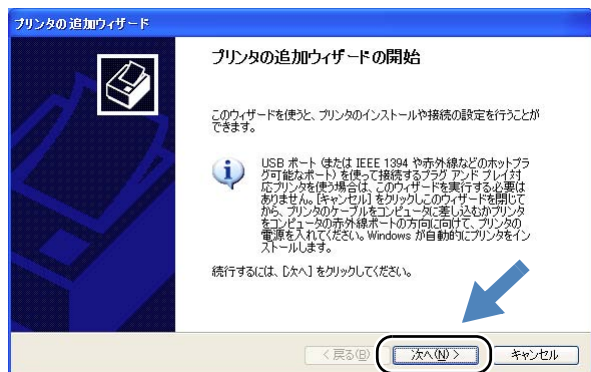
- 1 [スタート] メニューから [プリンタと FAX] をクリックし、[プリンタのインストール] をクリックします。

- Windows 2000、Windows NT 4.0 の場合は、[スタート] メニューから [設定] - [プリンタ] の順にクリックし、[プリンタの追加] をダブルクリックします。

[プリンタの追加ウィザード] が表示されます。

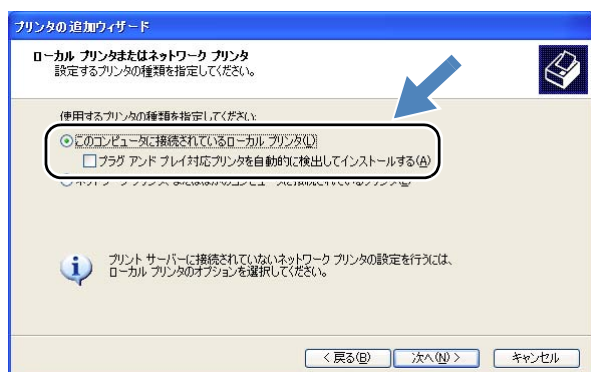
- Windows NT 4.0 の場合は、手順 3 へ進みます。

- 2 [次へ] をクリックします。



- 3 [このコンピュータに接続されているローカルプリンタ] をクリックし、[プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする] チェックボックスを OFF にします。

- Windows 2000 の場合は、[ローカルプリンタ] をクリックし、[プラグ アンド プレイプリンタを自動的に検出してインストールする] チェックボックスを OFF にします。
- Windows NT 4.0 の場合は、[このコンピュータ] を選択します。

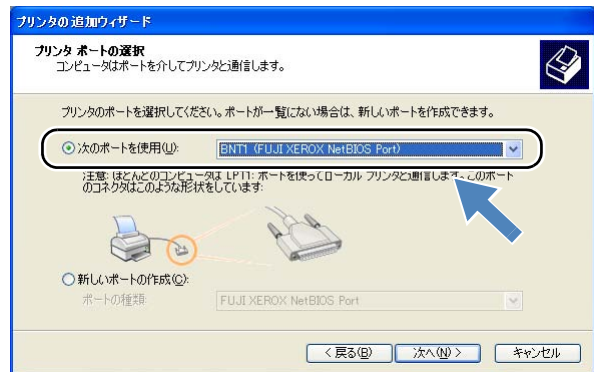


- 4 [次へ] をクリックします。



5

[次のポートを使用] をクリックし、「FUJI XEROX ピアツーピア印刷 (NetBIOS) ソフトウェアのインストール」の手順 8 で作成したポートを選択します。  
例) BNT1



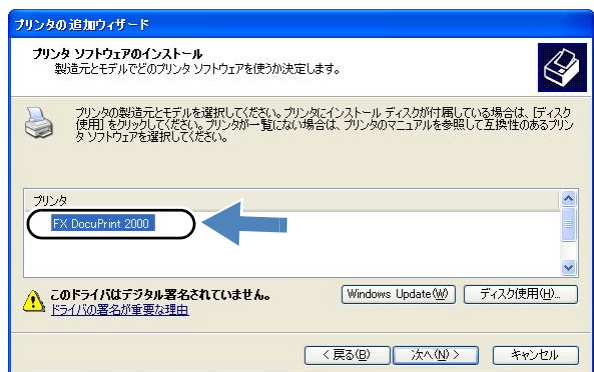
6

[次へ] をクリックします。

7

使用するプリンタードライバーを指定します。  
[ディスク使用] をクリックし、CD-ROM 上の保存場所を参照します。Windows 2000/XP の場合は「%Driver%PCL%Win2k\_xp」、Windows NT4.0 の場合は「%Driver%PCL%Winnt4」です。

プリンターのリストから、本機のプリンタードライバーを選択します。



パソコンがインターネットに接続されている場合は、[Windows Update] をクリックし、Microsoft のホームページから直接プリンタードライバーをダウンロードすることもできます。

8

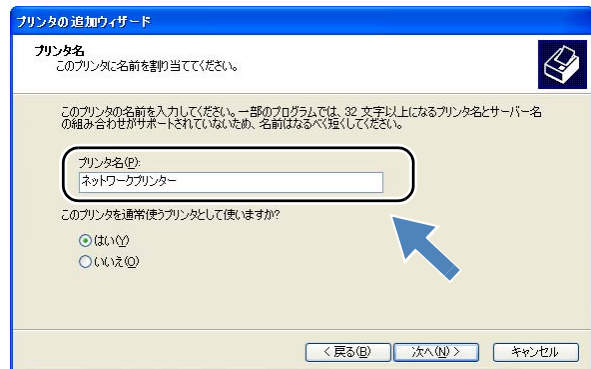
[次へ] をクリックします。



すでにプリンタードライバーがインストールされている場合は、現在のドライバーを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。  
[現在のドライバを使う (推奨)] を選択し、[次へ] をクリックします。既存のドライバーがない場合は、このメッセージは表示されません。

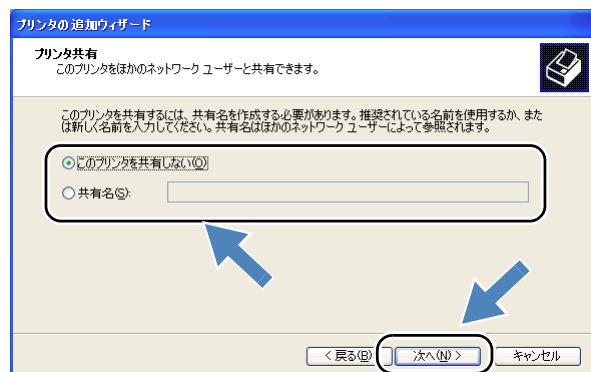
## 9 必要に応じて、[プリンタ名] を変更します。

例) ネットワークプリンター



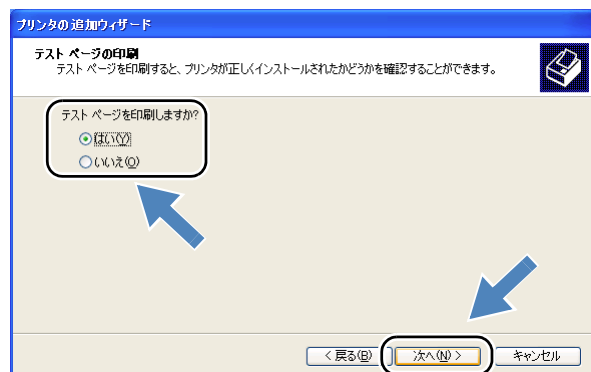
## 10 複数のプリンタドライバがインストールされている場合は、このプリンターを通常使うプリンターとして使うかどうかを選択し、[次へ] をクリックします。

## 11 このプリンターを共有するかどうかを選択し、共有する場合は [共有名] を入力して、[次へ] をクリックします。



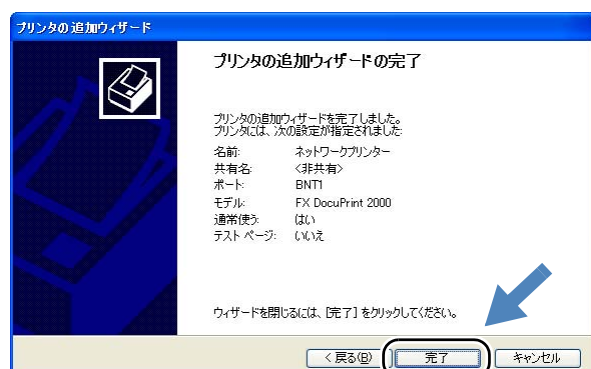
## 12 テスト印刷をするかどうかを選択し、[次へ] をクリックします。

- [はい] を選択した場合は、正しく印刷されたか確認してください。
- [いいえ] を選択した場合は、あとで正しく印刷されるかテスト印刷を行ってください。



## 13 [完了] をクリックします。 [プリンタの追加ウィザード] での設定が終了します。

これで、ローカルプリンターと同じように使用することができます。



**ピアツーピア印刷 (NetBIOS) ポートの追加**

ピアツーピア印刷 (NetBIOS) ポートを追加するときは、ピアツーピア印刷 (NetBIOS) ソフトウェアの再インストールは必要ありません。次の手順で追加できます。

- ① [スタート] メニューから [プリンタと FAX] をクリック (Windows 2000 の場合は、[スタート] メニューから [設定] - [プリンタ] の順にクリック) し、設定するプリンターをクリックします。
- ② [ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。
- ③ [ポート] タブをクリックし、[ポートの追加] をクリックします。
- ④ [FUJI XEROX NetBIOS Port] を選択し、[新しいポート] をクリックします。  
[ポート名の入力] が表示されます。
- ⑥ 「FUJI XEROX ピアツーピア印刷 (NetBIOS) ソフトウェアのインストール」の手順 8 ～ 10 **P.4-19** を実行します。

# 第5章 インターネット印刷機能を使う

## Windows 2000/XP の場合

Windows 2000/XP が標準サポートしている IPP プロトコルを使用して、インターネット印刷ができます。

Windows 2000/XP のインターネット印刷機能を使用するには、次の手順を実行します。



- この章の内容を操作する前に、本機の IP アドレスを設定する必要があります。IP アドレスを設定する必要がある場合は、「第2章 ネットワークで設定する」を参照してください。
- “ホストコンピューターとプリントサーバーが同じサブネット上にあるか” または “ルーターが2つのデバイス間でデータを渡すように正しく設定されているか” のどちらかを検証してください。
- お買い上げ時のパスワードは “access” に設定されています。

1

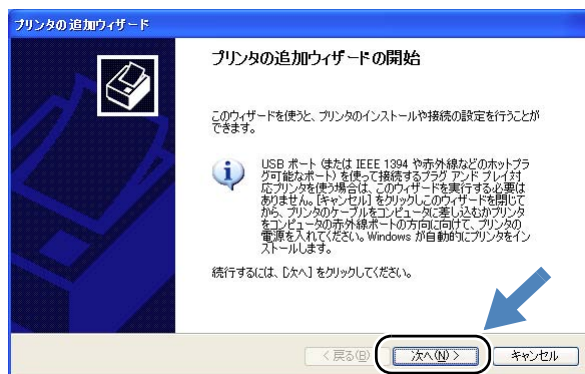
[スタート] メニューから [プリンタと FAX] をクリックし、[プリンタのインストール] をクリックします。

- Windows 2000 の場合は、[スタート] メニューから [設定] - [プリンタ] の順にクリックし、[プリンタの追加] をダブルクリックします。

[プリンタの追加ウィザード] が表示されます。

2

[次へ] をクリックします。

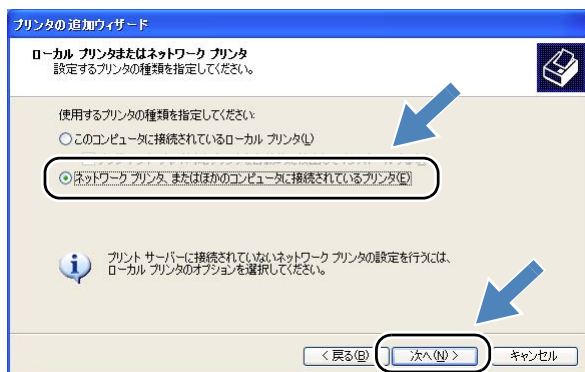


3

[ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ] をクリックし、[次へ] をクリックします。

- Windows 2000 の場合は、[ネットワークプリンタ] をクリックします。

[プリンタの指定] 画面が表示されます。



4

[インターネット上または自宅 / 会社のネットワーク上のプリンタに接続する] をクリックし、[URL:] ボックスに次の URL を入力します。

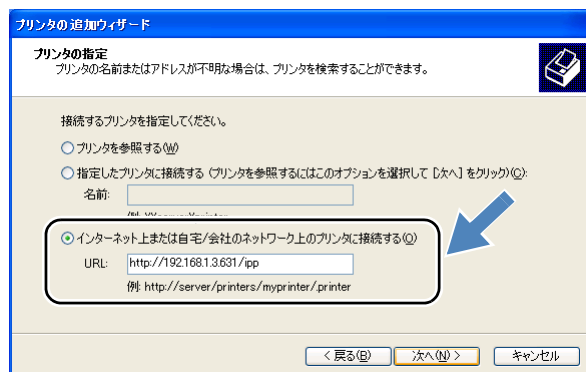
- Windows 2000 の場合は、[インターネットまたはイントラネット上のプリンターに接続します] をオンにし、[URL:] ボックスに次の URL を入力します。

**http://printer\_ip\_address:631/ipp**

printer\_ip\_address はプリンターの IP アドレスまたは DNS 名です。

例) プリンターの IP アドレスが 192.168.1.3 の場合

http://192.168.1.3:631/ipp



5

[次へ] をクリックします。  
指定した URL に接続されます。

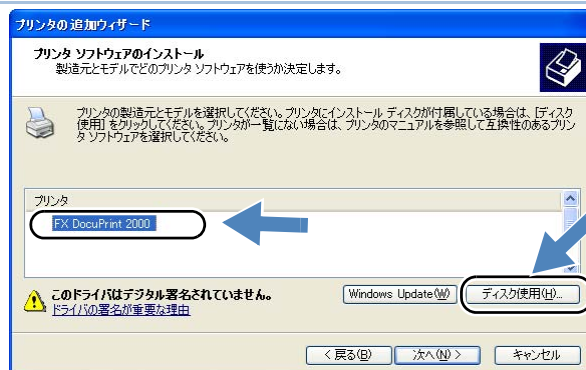
- 必要なプリンタードライバーがインストールされている場合  
適したプリンタードライバーがパソコンにインストールされている場合は、そのドライバーが自動的に使用されます。  
ドライバーをお買い上げ時のプリンタードライバーにするかどうかを選択し [次へ] をクリックします。  
手順 8 に進んでください。
- 必要なプリンタードライバーがインストールされていない場合  
IPP 印刷プロトコルのメリットのひとつは、通信先のプリンターのモデル名が自動的に確定されることです。プリンターとの通信が確立すると、自動的にプリンターのモデル名が表示されるため、使用するプリンタードライバーの種類を Windows 2000/XP に対して指定する必要はありません。  
プリンタードライバーがインストールされていない場合は、プリンター追加ウィザードのプリンター選択画面が表示されます。手順 6 に進んでください。

6

使用するプリンタードライバーを指定します。

[ディスク使用] をクリックし、CD-ROM 上の保存場所「¥Driver¥PCL¥Win2k\_xp」を参照します。

プリンターのリストから、本機のプリンタードライバーを選択します。





パソコンがインターネットに接続されている場合は、[Windows Update] をクリックし、Microsoft のホームページから直接プリンタードライバーをダウンロードすることもできます。

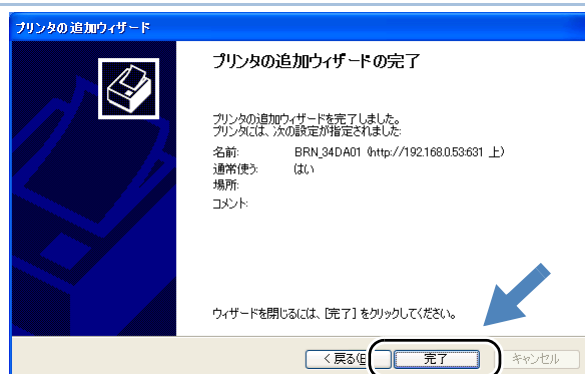


[次へ] をクリックします。



[完了] をクリックします。

これで、Windows 2000/XP のインターネット印刷機能の設定は完了しました。  
このパソコンを経由してインターネット印刷ができます。



## ● 別の URL を指定する

[URL] ボックスには、次の何種類かの入力が可能です。



「詳細」タブをクリックしてもプリンターのデータは表示されません。

**http://printer\_ip\_address:631/ipp**

お買い上げ時の URL です。この URL の使用をお勧めします。

**http://printer\_ip\_address:631/**

URL の詳細を忘れた場合は、このテキストだけでもプリンターに受け付けられ、データが処理されます。

ネットワークプリンターに内蔵されているサービス名を使用する場合は、次の URL も使用できます。

**http://printer\_ip\_address : 631/brn\_xxxxxx\_p1**

**http://printer\_ip\_address : 631/binary\_p1**

**http://printer\_ip\_address : 631/text\_p1**

**http://printer\_ip\_address : 631/postscript\_p1**

**http://printer\_ip\_address : 631/pcl\_p1**

**http://printer\_ip\_address : 631/brn\_xxxxxx\_p1\_at**

printer\_ip\_address はプリンターの IP アドレスです。  
xxxxxx は MAC アドレスの末尾 6 桁です。

# 第6章 BRAdmin Professional で管理する

## BRAdmin Professionalをインストールする

BRAdmin Professional は、ネットワークに接続された、本機のような装置を管理するためのソフトウェアです。

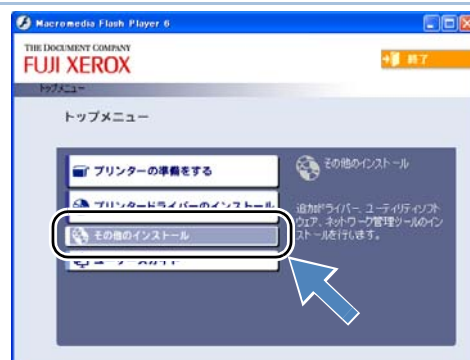
1

付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

- メニューが表示されないときは、「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「start.exe」をダブルクリックします。

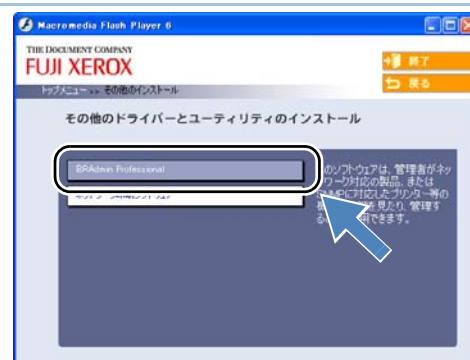
2

「その他のインストール」をクリックします。



3

「BRAdmin Professional」をクリックし、画面の指示に従ってインストールします。



- Windows XP で、「インターネット接続ファイアウォール」を有効にしている場合は、BRAdmin Professional の「稼働中の機器の検索」機能が利用できません。利用する場合は、一時的にファイアウォール機能を無効に設定してください。詳しい設定方法については「Windows XP のインターネット接続ファイアウォールの問題」[P.9-8](#)を参照してください。
- アンチウィルスソフトのファイアウォール機能が設定されている場合、BRAdmin Professional の「稼働中の機器の検索」機能が利用できないことがあります。利用する場合は、一時的にファイアウォール機能を無効にしてください。



# ネットワークインターフェイスを設定する

TCP/IP を利用して印刷するには、本機に IP アドレスを割り当てる必要があります。

使用するパソコンと同じネットワーク上に本機が接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。パソコンと本機の間ルーターが接続されている場合は、さらに「ゲートウェイ」のアドレスも設定します。



## ゲートウェイの設定

ルーターはネットワークとネットワークを中継する装置です。異なるネットワークに送信されるデータを正しく目的の場所に届ける働きをしています。このルーターが持つ IP アドレスをゲートウェイのアドレスとして設定します。ルーターの IP アドレスはネットワーク管理者に問い合わせるか、ルーターの取扱説明書を参照してください。

IP アドレスは以下の方法で割り当てます。

### • IP アドレス配布サーバーを利用している場合

本機は各種の IP アドレス自動設定機能に対応しています。DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバーを利用している場合は、本機が起動したときに自動的に IP アドレスが割り当てられます。

### • IP アドレス配布サーバーを利用していない場合

DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバーを利用していない場合は、APIPA (AutoIP) 機能により、本機が自動的に IP アドレスを割り当てることができます。ただし、お使いのネットワーク環境の IP アドレスの設定規則に適さない場合は、BRAdmin Professional を使用して本機の IP アドレスを設定してください。



## お買い上げ時の IP アドレス

IP アドレス配布サーバーを利用していない場合、お買い上げ時の設定は以下のとおりです。

- IP アドレス：169.254.xxx.xxx (APIPA 機能による自動割り当て)

現在の設定値を調べるときは、「設定一覧」を印刷します。詳しくは、「設定一覧の印刷」

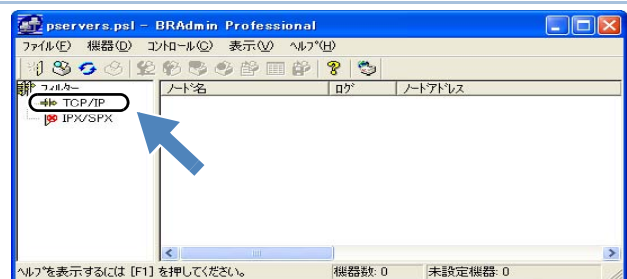
**P.2-18** を参照してください。



1 本機とパソコンをネットワークに接続した状態で、BRAdmin Professional を起動します。



2 ウィンドウの左側にある「フィルター」の「TCP/IP」を選びます。



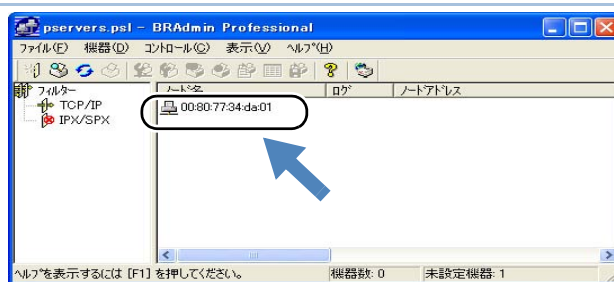
ネットワークインターフェイスがすでに設定されている場合や IP アドレスの自動設定機能により IP アドレスが割り当て済みの場合には、ウィンドウの右側に本機のノート名とノードアドレス (IP アドレス) が表示されます。



3

「機器」メニューから「稼働中の機器の検索」を選びます。

本機の設定がお買い上げ時のままだと、未設定デバイスとして表示されます。この場合、「ノード名」には MAC アドレスが表示されます。



Windows XP をお使いの場合や、アンチウイルスソフトのファイアウォール機能が有効になっている場合、「稼働中の機器の検索」機能が利用できないことがあります。利用する場合は、一時的にファイアウォール機能を無効にしてください。

4

「未設定機器」をダブルクリックします。

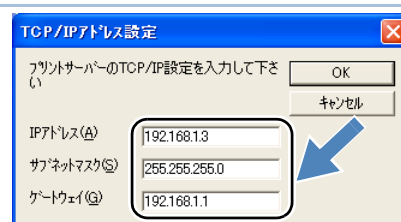


現在設定されているノード名や MAC アドレスを調べる時は、「設定一覧」を印刷します。詳しくは、「設定一覧の印刷」[P.2-18](#) を参照してください。

5

本機の IP アドレス、サブネットマスク、必要に応じてゲートウェイを入力します。

例) IP アドレス : 192.168.1.3  
サブネットマスク : 255.255.255.0  
ゲートウェイ : 192.168.1.1



6

[OK] をクリックします。

7

本機に IP アドレスが正しく設定されると、ウィンドウの右側にノード名とノードアドレス (IP アドレス) が表示されます。



**BRAdmin Professional を使用せずにネットワークを設定するときは**

以下の方法でもネットワークの設定ができます。

- 操作パネルで設定する [P.2-8](#)
- DHCP、APIPA、RARP、BOOTP を使用する「IP アドレスの設定方法」[P.10-2](#)
- Web ブラウザーで設定する [P.3-1](#)



- BRAdmin Professional を使って設定を変更する場合は、手順 3 で本機をダブルクリックして、[TCP/IP] タブをクリックします。
- お買い上げ時のパスワードは “access” に設定されています。

# Macintosh 編

## 第 7 章 ネットワークプリンターとして使う .... 7-2

設定の流れ..... 7-2

Macintosh BR-Script 3 プリンタードライバーを使う . 7-3

## 第 8 章 BRAdmin Light で管理する .....8-1

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定する .... 8-1

ネットワークインターフェイスを設定する ..... 8-1

# 第7章 ネットワークプリンターとして使う

## 設定の流れ

本機は、Mac OS X 10.2.4 ~ 10.2.8 および Mac OS X 10.3 ~ 10.4 でサポートされている簡易ネットワーク設定機能に対応しています。簡易ネットワーク設定機能を使用すれば、ネットワーク上に接続されているプリンターを簡単に使用できるようになります。

### ●プリントサーバー（本機）の設定

TCP/IP を使用する場合は、プリントサーバーに適切な IP アドレスを設定する必要があります。Mac OS X は、APIPA（AutoIP）機能に対応しています。APIPA を使用している環境であれば、プリントサーバーも APIPA を使用して自動的に IP アドレスを割り当てるため、IP アドレスを設定しなくてもプリントサーバーを使用できます。

IP アドレスの設定方法については、「IP アドレスを決める」[P.1-8](#) を参照してください。

### プリントサーバーの設定を行う

必要に応じてプリントサーバーにIPアドレスの設定などを行います。わからない場合はネットワーク管理者にお問い合わせください。

### 簡易ネットワーク設定機能の設定を行う

ネットワーク上のプリンターをリストアップし、使用できるように設定します。



簡易ネットワーク設定機能を使用すると、ネットワークプリンターとして使用できます。設定方法については、下記の参照先を参照してください。

#### DP2000 ドライバー（推奨）を使用する場合

- Mac OS X 10.2.4 ~ 10.2.8、Mac OS X 10.3 ~ 10.4  
クイックセットアップガイド「ネットワークケーブルで接続する場合」
- Mac OS 9.1 ~ 9.2  
クイックセットアップガイド「ネットワークケーブルで接続する場合」

#### Macintosh BR-Script 3 プリンタードライバーを使用する場合

- Mac OS X 10.2.4 ~ 10.2.8、Mac OS X 10.3 ~ 10.4 [P.7-3](#)
- Mac OS 9.1 ~ 9.2 [P.7-6](#)



#### BRAdmin Light について

BRAdmin Light は、ネットワークに接続された、本機のような装置を管理するソフトウェアです。

BRAdmin Light は、プリンタードライバーと同時にインストールされます。

「第8章 BRAdmin Light で管理する」[P.8-1](#) を参照してください。

# Macintosh BR-Script 3 プリンタードライバーを使う

BR-Script 3 (PostScript3 互換) ドライバーを使用する場合は、次の手順でプリンタードライバーを選択します。

DP2000 ドライバー (推奨) を使用する場合は、「クイックセットアップガイド」を参照してください。

## ● Mac OS X 10.2.4～10.2.8および10.3～10.4の場合

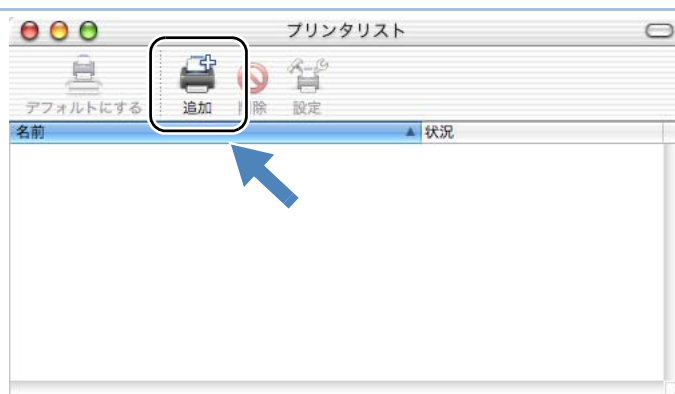


このセクションの画面は、Mac OS X 10.4 の画面です。Mac OS X 10.3 以前のバージョンの画面とは、画面や項目の名称が異なります。

**1** プリンターの電源を入れます。

**2** [Macintosh HD] アイコンー [アプリケーション] フォルダーー [ユーティリティ] フォルダーー [プリンタ設定ユーティリティ] (Mac OS X 10.2 の場合は [プリントセンター]) アイコンの順にダブルクリックします。

**3** [追加] をクリックします。

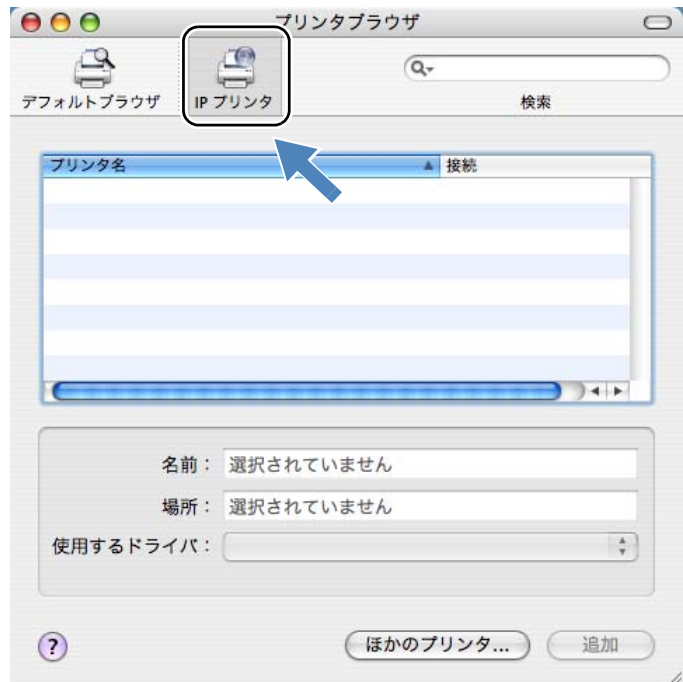


**4** [IP プリント] を選択します。  
Mac OS X 10.2.4～10.3.X の場合は、  
[IP プリント] を選択します。

Mac OS X 10.2.4 ～ 10.3.X



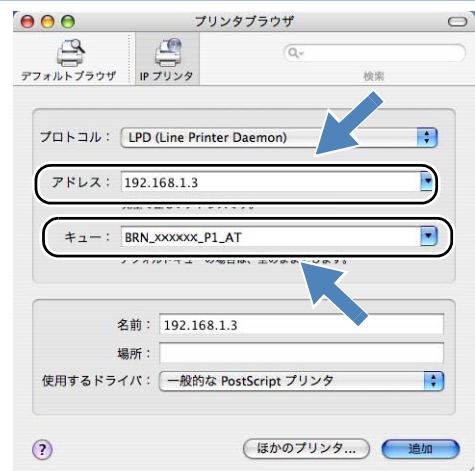
## Mac OS X 10.4



## 5

ご使用になるプリンターの IP アドレスとキュー名を入力します。

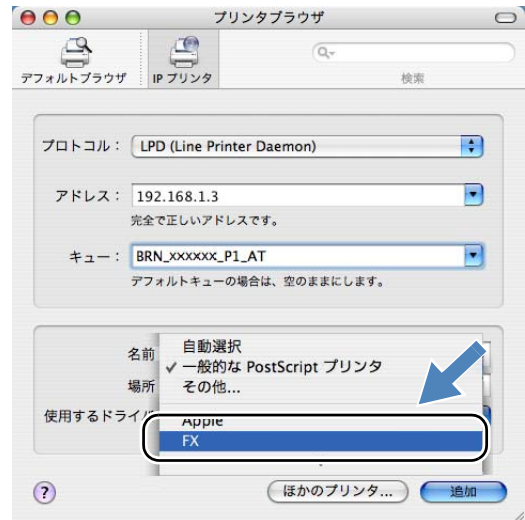
キューを指定するときには、BRN\_XXXXXX\_P1\_AT を使ってください。XXXXXX は MAC アドレスの末尾 6 桁です。



- ネットワーク設定一覧を印刷して、MAC アドレスを調べることができます。操作パネルで または を押して [インフォメーション] を選択し、 を 2 回押します。
- 適切なキュー名を指定していないときは、プリンターで正しく印刷ができません。ここで入力するキュー名と、プリンターのサービス名が一致していることを確認してください。

6

「使用するドライバ」から「FX」を選択します。  
Mac OS X 10.2.4～10.3.X の場合は、  
「プリンタの種類」から「FX」を選択  
します。



7

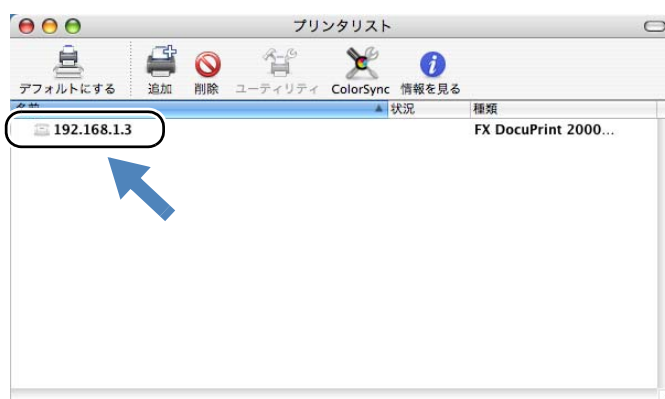
「FX DocuPrint 2000 BR-Script3j」を選択し、「追加」をクリックします。



プリンターが表示されます。

- プリンターを選択し、[デフォルトにする] をクリックすると、通常使用するプリンターとして設定されます。

これで、プリンターから印刷できます。



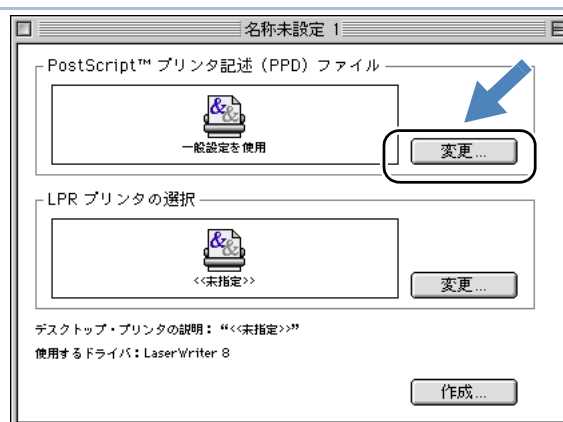
## ● Mac OS 9.1 ~ 9.2 の場合

- 1 [Macintosh HD] アイコンー [Applications (Mac OS 9)] フォルダーー [ユーティリティ] フォルダーー [デスクトップ・プリンタ Utility] フォルダーの順にダブルクリックします。  
[デスクトップ・プリンタ Utility] が起動します。

- 2 [プリンタ (LPR)] を選択し、[OK] をクリックします。

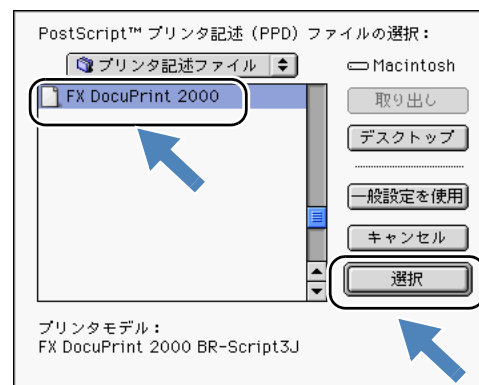


- 3 [PostScript プリンタ記述 (PPD) ファイル] の [変更...] をクリックします。



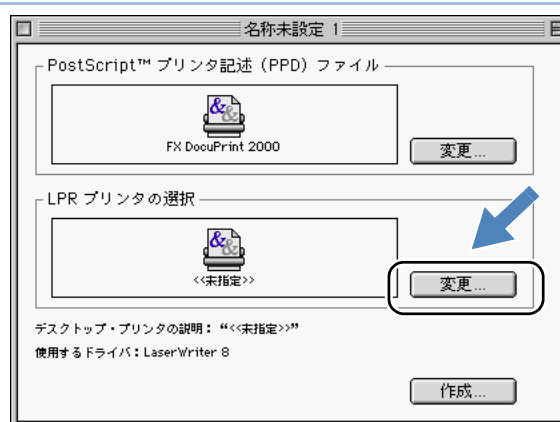
4

[FX DocuPrint 2000] を選択し、  
[選択] をクリックします。



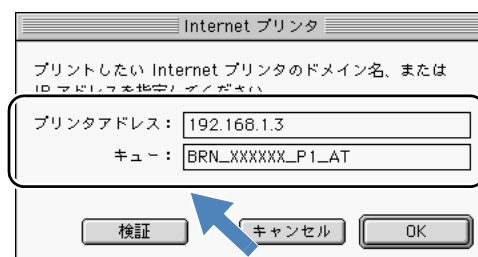
5

[LPR プリンタの選択] の [変更...] をクリックします。



6

ご使用になるプリンターの IP アドレスとキュー名を入力します。  
キューを指定するときには、  
BRN\_XXXXXX\_P1\_AT を使ってください。  
XXXXXX は MAC アドレスの末尾 6 桁です。



- ネットワーク設定一覧を印刷して、MAC アドレスを調べることができます。操作パネルで または を押して [インフォメーション] を選択し、 を 2 回押します。
- 適切なキュー名を指定していないときは、プリンターで正しく印刷ができません。ここで入力するキュー名と、プリンターのサービス名が一致していることを確認してください。

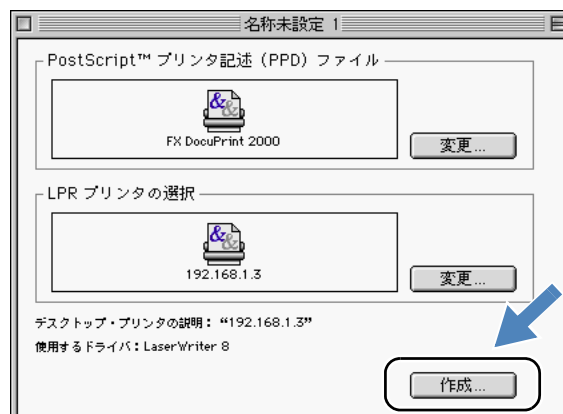
7

[OK] をクリックします。



8

「作成」をクリックします。



9

「デスクトップ・プリンタの保存名」  
にご使用のプリンター名を入力し、  
「保存」をクリックします。

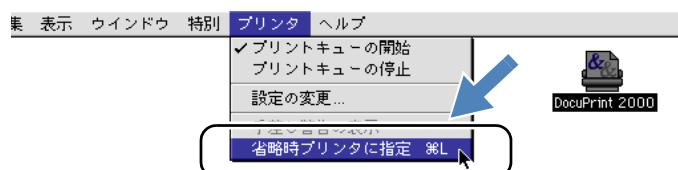
例: DocuPrint 2000



10

手順9で作成したプリンターアイコン  
をクリックし、「プリンタ」メ  
ニューから「省略時プリンタに指  
定」を選択します。

プリンターが「省略時プリンタ」に指定  
されます。



これでプリンターのセットアップは完了です。

# 第 8 章 BRAdmin Light で管理する

## IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定する

BRAdmin Light は、Mac OS X 専用の Java アプリケーションソフトです。BRAdmin Professional (Windows 専用) のいくつかの機能をサポートした、BRAdmin 簡易アプリケーションです。BRAdmin Light は、プリンタードライバーのインストール時に自動的にインストールされます。

## ネットワークインターフェイスを設定する

TCP/IP を利用して印刷するには、本機に IP アドレスを割り当てる必要があります。

使用するパソコンと同じネットワーク上に本機が接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。パソコンと本機の間にはルーターが接続されている場合は、さらに「ゲートウェイ」のアドレスも設定します。



### ゲートウェイの設定

ルーターはネットワークとネットワークを中継する装置です。異なるネットワークに送信されるデータを正しく目的の場所に届ける働きをしています。このルーターが持つ IP アドレスをゲートウェイのアドレスとして設定します。ルーターの IP アドレスはネットワーク管理者に問い合わせるか、ルーターの取扱説明書を参照してください。

IP アドレスは以下の方法で割り当てます。

#### • IP アドレス配布サーバーを利用している場合

本機は各種の IP アドレス自動設定機能に対応しています。DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバーを利用している場合は、本機が起動したときに自動的に IP アドレスが割り当てられます。

#### • IP アドレス配布サーバーを利用していない場合

DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバーを利用していない場合は、APIPA (AutoIP) 機能により、本機が自動的に IP アドレスを割り当てることができます。ただし、お使いのネットワーク環境の IP アドレスの設定規則に適さない場合は、BRAdmin Light を使用して本機の IP アドレスを設定してください。



### お買い上げ時の IP アドレス

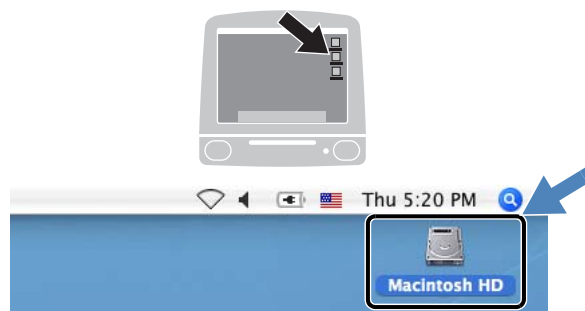
IP アドレス配布サーバーを利用していない場合、お買い上げ時の設定は以下のとおりです。

- IP アドレス：169.254.xxx.xxx (APIPA 機能による自動割り当て)

現在の設定値を調べるときは、「設定一覧」を印刷します。詳しくは、「設定一覧の印刷」

**P.2-18** を参照してください。

- 1 デスクトップの [Macintosh HD] アイコンをダブルクリックします。

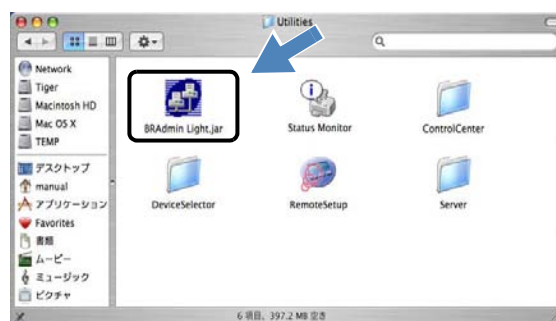


- 2 [ライブラリ]、[Printers]、[FujiXerox]、[Utilities] の順に選択します。



ネットワークインターフェイスがすでに設定されている場合やIPアドレスの自動設定機能により IP アドレスが割り当て済みの場合には、ウィンドウの右側に本機のネットワークインターフェイスが表示されます。

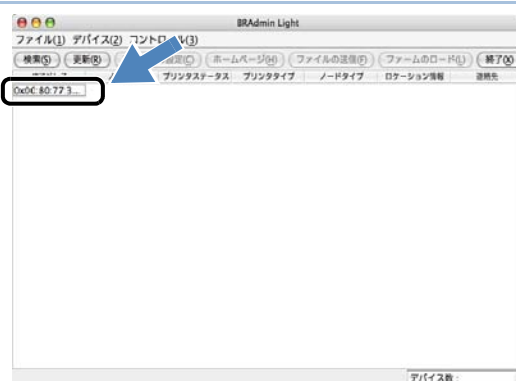
- 3 [BRAdmin Light.jar] をダブルクリックして、BRAdmin Light を起動します。  
BRAdmin Light が新しいデバイスを自動的に検索します。



プリントサーバーのお買い上げ時のパスワードは、“access” に設定されています。BRAdmin Light や Web ブラウザーで好きなパスワードに変更することができます。

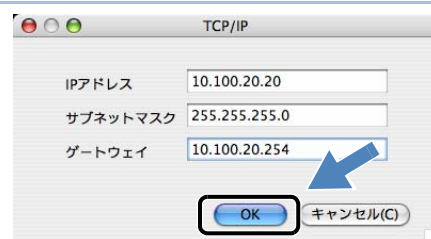
4

新しいデバイスをダブルクリックします。



5

[IP アドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイ]を入力し、[OK] をクリックします。  
アドレス情報がプリンターに保存されます。



6

本機に IP アドレスが正しく設定されると、ウィンドウの右側に IP アドレスおよびノード名が表示されます。



**BRAdmin Light** を使用せずにネットワークを設定するときは

以下の方法でもネットワークの設定ができます。

- 操作パネルで設定する [P.2-5](#)
- DHCP、APIPA、RARP、BOOTP を使用する「IP アドレスの設定方法」[P.10-2](#)
- Web ブラウザーで設定する [P.3-1](#)

# こんなときは

<b>第 9 章</b>	<b>トラブルシューティング</b>	<b>9-2</b>
概要		9-2
一般的な問題		9-2
• CD-ROM を挿入しても自動的に開始しない (Windows のみ)		9-2
• 本機のネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする方法		9-2
接続と設定の問題		9-3
プロトコル固有の問題		9-6
• TCP/IP のトラブルシューティング		9-6
• LPR (BLP) での TCP/IP ピアツーピア印刷のトラブルシューティング		9-6
• NetBIOS での TCP/IP ピアツーピア印刷のトラブルシューティング		9-7
• Web ブラウザーのトラブルシューティング		9-7
ファイアウォールの問題		9-8
• Windows XP のインターネット接続ファイアウォールの問題		9-8
• アンチウィルスソフトの問題		9-9
その他の問題		9-10
<b>第 10 章</b>	<b>付録</b>	<b>10-1</b>
操作パネル以外から IP アドレスを設定する		10-1
• 概要		10-1
• IP アドレスの設定方法		10-2
サービスの使用		10-4
ネットワークボードのファームウェアの アップデート		10-5
• 概要		10-5
• ファームウェアのアップデート方法		10-5
• ネットワークボードのファームウェアのアップデート時の 注意		10-6
用語集		10-7
ネットワークの仕様		10-10
索引		10-11

# 第9章 トラブルシューティング

## 概要

本機を使用する上で、発生する可能性のある問題とその解決方法について説明しています。

問題の種類を以下の5つに分けています。該当する問題のページを参照してください。

- 一般的な問題 [P.9-2](#)
- 接続と設定の問題 [P.9-3](#)
- プロトコル固有の問題 [P.9-6](#)
- ファイアウォールの問題 [P.9-8](#)
- その他の問題 [P.9-10](#)

## 一般的な問題

### ● CD-ROM を挿入しても自動的に開始しない (Windows のみ)

ご使用のパソコンが自動起動に対応していないと、CD-ROM を挿入したあとにメニューが自動的に表示されません。この場合は、CD-ROM の内容を表示して「start.exe」を実行してください。

### ● 本機のネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする方法

「ネットワーク設定リセット」を実行します。[P.2-17](#)

# 接続と設定の問題

ネットワークを通じて印刷することができない場合は、以下の手順で確認します。

- 1 本機の電源がオンで、オンラインであり、印刷できる状態であることを確認します。



設定一覧を印刷して、ノード名と MAC アドレスを調べることができます。「設定一覧の印刷」[P.2-18](#)を参照してください。

- a. 本体背面の 10BASE/100BASE-TX ポートの近くにあるネットワーク LED が点滅していない場合は、ネットワークファームウェアの設定に異常がある可能性があります。
- b. この場合は、本機をお買い上げ時の設定にリセットします。  
「ネットワーク設定リセット」を実行します。[P.2-17](#)



設定一覧は印刷できるのに通常のドキュメントが印刷できない場合は、次の手順を実行します。

次の手順を実行しても印刷できない場合は、ハードウェアまたはネットワークに問題があると考えられます。

- **TCP/IP** を使用している場合

パソコンから次のコマンドを実行し、本機への ping を確認します。

### Ping ipaddress

ipaddress は本機の IP アドレスです。

本機に IP アドレスがロードされるまでに、IP アドレスの設定後最大 2 分間程度かかる場合があります。

- 応答が正しく返される場合は、「プロトコル固有の問題」[P.9-6](#)の各トラブルシューティングへ進みます。

例) **C:¥>Ping 192.168.0.53**

**Pinging 192.168.0.53 with 32 bytes of data:**

**Reply from 192.168.0.53: bytes=32 time<10ms TTL=255**

**Reply from 192.168.0.53: bytes=32 time<10ms TTL=255**

**Reply from 192.168.0.53: bytes=32 time<10ms TTL=255**

**Reply from 192.168.0.53: bytes=32 time<10ms TTL=255**

**Ping statistics for 192.168.0.53:**

**Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),**

**Approximate round trip times in milli-seconds:**

**Minimum = 0ms, Maximum = 0ms, Average = 0ms**

- 応答が返らない場合は、手順 3 を確認したあとで、「TCP/IP のトラブルシューティング」[P.9-6](#)へ進みます。

例) **C:\>Ping 192.168.0.53**

**Pinging 192.168.0.53 with 32 bytes of data:**

**Request timed out.**

**Request timed out.**

**Request timed out.**

**Request timed out.**

**Ping statistics for 192.168.0.53:**

**Packets: Sent = 4, Received = 0, Lost = 4 (100% loss),**

**Approximate round trip times in milli-seconds:**

**Minimum = 0ms, Maximum = 0ms, Average = 0ms**



手順 2 で接続できなかった場合は、次の項目を確認します。

- 本機の電源がオンで、オンラインになっていることを確認します。
- LED の表示をチェックします。  
ネットワークインターフェイスには本機の背面に2個のネットワーク LED があります。この LED を使用して、問題の診断を行うことができます。
  - 上の LED が消灯  
ネットワークインターフェイスがネットワークに接続されていないことを示します。
  - 下の LED が緑色に点灯  
ネットワークインターフェイスがネットワークに接続されていることを示します。
  - 下の LED がオレンジ色に点灯  
100BASE リンク
  - 下の LED が消灯  
10BASE リンク
- IP アドレスの不一致や重複が原因で問題が発生していないか確認します。
  - 本機に IP アドレスが正しくロードされていることを確認します。



設定一覧を印刷して、IP アドレスを調べることができます。「設定一覧の印刷」[P.2-18](#)を参照してください。

- ネットワーク上のノードで、この IP アドレスが使用されていないことを確認します。



リピーターまたはハブを使用している場合は、そのリピーターまたはハブの SQE (ハートビート) をオフにします。

他のハブを使用している場合やリピーターマルチポートの場合は、ネットワークインターフェイスを別のポートや他のハブ、またはマルチリピーターで試し、元の接続ポートが機能していたかどうかを確認します。



---

**5**

本機とホストコンピューターとの間にブリッジまたはルーターが存在する場合は、ホストから本機へのデータの送受信ができるように設定されていることを確認します。

たとえば、ブリッジは特定の MAC アドレスのデータだけが通過できるように設定されていること（フィルタリング）があります。本機の IP アドレスが含まれるように設定してください。

ルーターは特定のプロトコルだけを通過させるように設定されていることがあります。本機で使用するプロトコルが通過できるように設定されていることを確認してください。

---

**6**

本機が印刷ジョブを受け取っているのに印刷されない場合は、テキストジョブを PostScript プリンターに出力していないかどうかをチェックします。

自動言語切り替え機能のあるプリンターを使用している場合は、プリンターが強制的に PostScript モードに切り替えられていないかどうかを確認します。

# プロトコル固有の問題

## ● TCP/IP のトラブルシューティング

ハードウェアとネットワークに問題がなく、TCP/IP を使用して本機に正しく印刷できない場合は、以下の手順で確認します。



設定エラーによる原因をなくするため、確認の前に以下の手順を行います。

- 本機の電源を入れ直します。
- 本機の設定を削除して作成し直し、新しい印刷キューを作成します。

### 1 IP アドレスの不一致や重複が原因で問題が発生していないか確認します。

- 1 本機に IP アドレスが正しく設定されているか確認します。「設定一覧の印刷」[P.2-18](#)を参照してください。
- 2 ネットワーク上で本機に設定した IP アドレスが重複して使用されていないことを確認します。本機のネットワークケーブル（LAN ケーブル）を外して、ネットワーク上のパソコンの MS-DOS プロンプトまたはコマンドプロンプトから ping を実行し、タイムアウトになることを確認します。

### 2 本機に設定した IP アドレスが変わっていないか確認します。

本機に IP アドレスを指定して使用しようとした場合、パネル操作で間違いなく指定しているにもかかわらず、ping が通らないことがあります。IP アドレスを指定する場合は、あらかじめ、取得方法を「static（固定）」に変更してから IP アドレスを指定してください。

### 3 TCP/IP が本機で使用する設定になっていることを確認します。

### 4 rarp を使用した場合は、次の項目を確認します。

- UNIX ホストコンピュータで、rarpd、rarpd -a、または同等のコマンドを使用して rarp デモンが起動していることを確認します。
- /etc/ethers ファイルに、正しい MAC アドレス（イーサネットアドレス）が記述されていることを確認します。
- ノード名が /etc/hosts ファイル内の名称と一致していることを確認します。

### 5 bootp を使用した場合は、bootp が有効になっていることを確認します。

### 6 ホストコンピュータと本機が、どちらも同じサブネット上に存在することを確認します。

サブネットが異なる場合は、両デバイス間でのデータの送受信が行えるようにルーターが設定されていることを確認します。

## ● LPR (BLP) での TCP/IP ピアツーピア印刷のトラブルシューティング

Windows 98/98SE/Me で、LPR (BLP) での TCP/IP ピアツーピア印刷に問題がある場合は、以下の手順で確認します。




### 1 「Windows 95/98/Me の場合」[P.4-8](#)の説明に従って、ピアツーピア印刷ソフトウェアが正しくインストールされ、設定されていることを確認します。

### 2 プリンタードライバのプロパティの [ポートの設定] でバイトカウントを有効にします。



ピアツーピア印刷ソフトウェアをインストールするときに、ポート名を入力する画面が表示されないことがあります。<ALT>+<TAB> キーを押すと表示されます。

## ● NetBIOS での TCP/IP ピアツーピア印刷のトラブルシューティング

Windows 95/98/Me/2000/XP、Windows NT 4.0 で、NetBIOS での TCP/IP ピアツーピア印刷に問題がある場合は、次の項目をチェックします。

-  「NetBIOS で印刷する」 の説明に従って、ピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアが正しくインストールされ、設定されていることを確認します。  
ピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアをインストールするときに、ポート名を入力する画面が表示されないことがあります。<ALT>+<TAB> キーを押すと表示されます。
-  ネットワークプリンターが、ネットワーク内のパソコンと同じワークグループまたはドメインに所属するように設定されていることを確認します。  
ネットワークプリンターが「ネットワークコンピュータ」として表示されるまでに、数分かかることがあります。

## ● Web ブラウザーのトラブルシューティング

-  Web ブラウザーを使用してネットワークプリンターに接続できない場合は、ブラウザーのプロキシの設定を確認します。  
プロキシを使用しないように設定し、必要に応じてネットワークプリンターの IP アドレスを入力します。  
ネットワークプリンターの接続時に、毎回パソコンが ISP やプロキシサーバーへの接続を試行しなくなります。
-  使用している Web ブラウザーが適しているか確認します。  
Netscape Navigator バージョン 7.1 以降または Microsoft Internet Explorer バージョン 6.0 以降の使用をお勧めします。

# ファイアウォールの問題

## ● Windows XP のインターネット接続ファイアウォールの問題

Windows XP で、「インターネット接続ファイアウォール」を有効にしている場合、以下のような制限が発生します。

- TCP/IP ピアツーピア印刷      印刷ができない場合があります。
- BRAdmin Professional      プリンターの検索ができない場合があります。

これらの機能を利用する場合は、以下の手順でファイアウォール設定を変更する必要があります。ただし、変更設定はセキュリティポリシーによって不適切と判断される場合があります。ご利用の環境に最も適した設定方法を選択してください。

### Service Pack1 の場合

#### ● インターネット接続ファイアウォールを無効にする

- 1 コントロールパネルから [ネットワーク接続] をクリックします。
- 2 使用しているネットワークアイコン（ローカルエリア接続など）を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
- 3 [詳細設定] タブをクリックします。
- 4 [インターネットからこのコンピュータへのアクセスを制限したり防いだりして、コンピュータとネットワークを保護する] のチェックボックスを OFF にします。

#### ● インターネット接続ファイアウォールを有効にしたまま設定を変える

- 1 [インターネットからこのコンピュータへのアクセスを制限したり防いだりして、コンピュータとネットワークを保護する] のチェックボックスを ON にします。
- 2 プロパティシートの右下の [設定] ボタンをクリックします。
- 3 [サービス] タブが選択されている画面で、[追加] ボタンをクリックし、以下の情報を入力します。
  - ・ サービスの説明  
“NetBIOS NameService”（名称は任意です。）
  - ・ ネットワークでこのサービスをホストしているパソコンの名前または IP アドレス  
“192.168.1.3”（本機に割り当てた IP アドレス）
  - ・ このサービスの外部ポート番号  
“137”
  - ・ このサービスの内部ポート番号  
“137”プロトコル（TCP/UDP）は、“UDP” を選択してください。
- 4 [OK] ボタンをクリックします。

**5** [OK] ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。

## Service Pack2 の場合

### ●インターネット接続ファイアウォールを無効にする

**1** コントロールパネルから、[ネットワークとインターネット接続] - [Windows ファイアウォール] をクリックします。

**2** [全般] タブが選択されている画面で、[無効 (推奨されません)] をクリックします。

### ●インターネット接続ファイアウォールを有効にしたまま設定を変える

**1** [例外] タブをクリックします。

**2** [ポートの追加] ボタンをクリックします。

**3** [ポートの追加] ウィンドウで、以下の情報を入力します。

- 名前  
“NetScan” (名称は任意です)
- ポート番号  
“54925”

プロトコル (TCP/UDP) は、“UDP” を選択してください。

**4** [ポートの追加] ウィンドウの左下の [スコープの変更] ボタンをクリックします。

**5** 「スコープの変更」ウィンドウで、[ユーザーのネットワーク (サブネット) のみ] を選択します。

**6** [OK] ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。

ローカルネットワークで複数のWindows XPをインストールしたパソコンから本機を利用する場合、それぞれのパソコンに対して、同様の設定変更が必要になります。このような場合は Windows XP のファイアウォール機能をすべて無効にし、ルーターでサポートされているファイアウォール機能を利用することをお勧めします。詳しくは、ネットワーク管理者に問い合わせるか、ルーターの取扱説明書を参照してください。

※ ファイアウォール機能を無効にした場合の結果については、当社は一切その責任を負いません。  
あらかじめご了承ください。

## ●アンチウィルスソフトの問題

市販のアンチウィルスソフト (ウイルスバスター<sup>TM</sup>、Norton AntiVirus<sup>TM</sup> など) でパーソナルファイアウォール機能が提供されている場合も、Windows XP と同様の影響を受けます。詳しい設定方法についてはソフトウェア提供元へご相談ください。

## その他の問題

---


その他に問題が発生する場合は、以下の手順で確認します。

---

容量の小さいジョブは正しく印刷でき、グラフィックなど容量の大きいジョブの印刷品質に問題があったり不完全に印刷されたりする場合は、最新のプリンタードライバーがパソコンにインストールされているかどうかを確認します。

プリンターの最新ドライバーは、富士ゼロックスのホームページ (<http://www.fujixerox.co.jp>) からダウンロードできます。

---

その他、まれに発生する問題の原因は、「プロトコル固有の問題」 を参照してください。

# 第 10 章 付録

## 操作パネル以外から IP アドレスを設定する

### ● 概要

TCP/IP を使用するには、ネットワーク上の機器に固有の IP アドレスを設定する必要があります。この章では、本機の IP アドレスの設定方法について説明します。

### ● IP アドレスの設定



#### IP アドレスの自動設定機能 (APIPA)

APIPA が使用可能で、DHCP などの IP アドレス配布サーバーがない環境では、169.254.1.0 ~ 169.254.254.255 の範囲で自動的に IP アドレスが割り当てられます。APIPA を使用不可に設定する場合は、「APIPA」[P.2-13](#)を参照してください。お買い上げ時は、APIPA は使用可能に設定されています。

APIPA を使用しない場合のお買い上げ時の IP アドレスは 192.0.0.192 です。お買い上げ時の IP アドレスが、使用しているネットワークでの IP アドレス設定規則に適していない場合は、IP アドレスを変更してください。IP アドレスの変更は、次のいずれかの方法で設定できます。

- 操作パネルから設定を変更する [P.2-8](#)
- DHCP を使用して自動的に設定する [P.10-2](#)
- APIPA を使用して自動的に設定する [P.10-2](#)
- RARP (rarp) を使用する [P.10-2](#)
- BOOTP を使用する [P.10-3](#)
- 手動で IP アドレスを設定する：BRAdmin Professional (Windows 98/98SE/Me/2000/XP、Windows NT4.0) /BRAdmin Light (Mac OS X 10.2.4 ~ 10.2.8、Mac OS X 10.3 ~ 10.4) [P.10-2](#)

## ● IP アドレスの設定方法

### 手動で IP アドレスを設定する：BRAdmin Professional / BRAdmin Light

BRAdmin Professional は Windows 98/98SE/Me/2000/XP および Windows NT4.0 で使用できるソフトウェアです。BRAdmin Light は Mac OS X 10.2.4 ~ 10.2.8 および Mac OS X 10.3 ~ 10.4 で使用できるソフトウェアです。

BRAdmin Professional および BRAdmin Light は TCP/IP に対応しており、ネットワーク経由で本機の設定を管理できます。また、本機のファームウェアのアップデートにも利用できます。

BRAdmin Professional および BRAdmin Light では、本機との接続に TCP/IP を使用して、IP アドレスを変更できます。本機のお買い上げ時の IP アドレスが、使用しているネットワークでの IP アドレス設定規則に適していない場合は、IP アドレスを変更してください。

ただし、DHCP、BOOTP、RARP または APIPA 機能を使用している場合は、自動的に IP アドレスが設定されます。お買い上げ時は、APIPA の機能が有効になっています。

詳しくは、「第 6 章 BRAdmin Professional で管理する」[P.6-1](#)、または「第 8 章 BRAdmin Light で管理する」[P.8-1](#) を参照してください。

### DHCP を使用して自動的に設定する

動的ホスト構成プロトコル（DHCP）は、IP アドレス自動割り当て機能の 1 つです。ネットワーク上に DHCP サーバーがある場合は、その DHCP サーバーから本機に自動的に IP アドレスが割り当てられます。

### APIPA を使用して自動的に設定する

DHCP サーバーが利用できない場合は、本機の IP アドレスの自動設定機能（APIPA）によって IP アドレスとサブネットマスクを自動的に割り当てます。本機の IP アドレスを 169.254.1.0 ~ 169.254.254.255 の範囲、サブネットマスクは 255.255.0.0、ゲートウェイアドレスは 0.0.0.0 に自動的に設定します。

お買い上げ時は、APIPA は使用可能に設定されています。

### RARP を使用して IP アドレスを設定する

UNIX ホストコンピュータで Reverse ARP（RARP）機能を使用し、本機のプリントサーバーの IP アドレスを設定することができます。

以下のエントリー例と同じような行を追加入力して、`/etc/ethers` ファイルを編集してください（ファイルが存在しない場合は、新しいファイルを作成します）。

例) **00:80:77:31:01:07 BRN\_310107**

**00:80:77:31:01:07** は本機の MAC アドレス、**BRN\_310107** は本機のノード名です。

お使いのプリンターの設定のものを入力してください。ノード名は、`/etc/hosts` ファイル内の名前と同じでなければなりません。

`rarp` デーモンが実行されていない場合は、実行します。

使用環境により、コマンドは `rarpd`、`rarpd -a`、`in.rarpd -a` になります。詳細情報については、`man rarpd` と入力するか、システムのマニュアルを参照してください。Berkeley UNIX ベース環境で `rarp` デーモンを確認するには、以下のコマンドを入力してください。

```
ps -ax | grep -v grep | grep rarpd
```

AT&T UNIX ベース環境では、以下のコマンドを入力してください。

```
ps -ef | grep -v grep | grep rarpd
```



本機の電源をオンにすると、rarp デーモンから IP アドレスが割り当てられます。

## BOOTP を使用する

BOOTP を使用して IP アドレスを設定するには、ホストコンピュータに BOOTP がインストールされ、実行されている必要があります。ホスト上の `/etc/services` ファイルに BOOTP がリアルサービスとして記述されていなければなりません。man bootpd と入力するか、システムのマニュアルを参照してください。

通常、BOOTP は `/etc/inetd.conf` ファイルを使用して起動されるので、このファイルの bootp エントリーの行頭にある `#` を削除して、この行を有効にしておく必要があります。

一般的な `/etc/inetd.conf` ファイル内の bootp エントリーを以下に示します。

```
#bootp dgram udp wait /usr/etc/bootpd bootpd -i
```



システムによって、このエントリーには bootp ではなく bootps が使用されている場合があります。

BOOTP を有効にするには、テキストエディターを使用して行頭の `#` を削除します。`#` がいない場合は、BOOTP はすでに有効になっています。

次に、設定ファイル（通常は `/etc/bootptab`）を編集し、ネットワークインターフェイスの名前、ネットワークの種類（Ethernet の場合は 1）、MAC アドレス（イーサネットアドレス）、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを入力します。ただし、この記述フォーマットは標準化されていないため、システムのマニュアルを参照してください。

一般的な `/etc/bootptab` エントリーの例を、以下に示します。

```
BRN_310107 1 00:80:77:31:01:07 192.168.1.3
および
BRN_310107:ht=ethernet:ha=008077310107:\
ip=192.168.1.3:
```


BOOTP ホストソフトウェアの中には、ダウンロードするファイル名が設定ファイル内に含まれていないと、BOOTP リクエストに回答しないものがあります。そのような場合には、ホスト上に null ファイルを作成し、このファイルの名前とパスを設定ファイル内で指定します。

RARP での設定の場合と同じように、本機の電源をオンにすると、BOOTP サーバーから IP アドレスが割り当てられます。

# サービスの使用

本機が、同一ネットワーク上に接続されたパソコンに提供する印刷リソースをサービスと呼びます。ネットワークには、下表の定義済みサービスが用意されています。BRAdmin Professional の右画面でノード名を選び、右クリックして表示されるメニューから「プリントサーバー設定」を選ぶと、利用できるサービスのリストが表示されます。

このとき、本機のパスワードを入力する必要があります。お買い上げ時のパスワードは“access”に設定されています。



BRAdmin Professional を使ったネットワーク設定について、詳しくは「ネットワークインターフェイスを設定する」を参照してください。**P.6-2**

サービス	説明
BINARY_P1	TCP/IP バイナリーサービス
TEXT_P1	TCP/IP テキストサービス (LF の後ろに CR を追加)
POSTSCRIPT_P1	PostScript サービス (PJL 互換プリンターなら PostScript モードへ切り換えて印刷する)
PCL_P1	PCL サービス (PJL 互換プリンターなら PCL モードへ切り換えて印刷する)
BRN_xxxxxx_P1	TCP/IP バイナリーサービス
BRN_xxxxxx_P1_AT	Macintosh 用 PostScript サービス

xxxxxx は MAC アドレスの末尾 6 桁です (BRN\_310107\_P1 など)。

# ネットワークボードのファームウェアのアップデート

## ● 概要

本機のネットワークボードのファームウェアは、フラッシュメモリに格納されています。そのため、適合するアップデートファイルをダウンロードして、ファームウェアのアップデートを行うことができます。最新のファームウェアアップデートファイル入手する場合は、以下のホームページを参照してください。

富士ゼロックスのホームページ (<http://www.fujixerox.co.jp>)



用意されているソフトウェアバージョンによっては、新しい機能を本機に追加するために、本機の設定が自動的にお買い上げ時の設定にリセットされることがあります。そのため、ファームウェアのアップデートを実行する前に設定一覧を印刷し、本機の現在の設定を必ず記録に残しておいてください。「設定一覧の印刷」[P.2-18](#)を参照してください。

## ● ファームウェアのアップデート方法

### BRAdmin Professional を使用する

BRAdmin Professional を使用すると、ネットワークボードのファームウェアを簡単にアップデートできます。

BRAdmin Professional のインストールについては「BRAdmin Professional をインストールする」[P.6-1](#)を参照してください。



1 BRAdmin Professional を起動します。



2 本機を選択します。



3 [コントロール] メニューの [ファームウェアのロード] を選びます。

複数のネットワークインターフェイスを選択するには、<CTRL> キーまたは <SHIFT> キーを押したまま、必要なネットワークインターフェイスを選択します。



4 次の方法で、新しいファームウェアアップデートファイルを本機に送ります。

このとき、本機のパスワードを入力する必要があります。お買い上げ時のパスワードは“access”に設定されています。

### ● TFTP PUT (ホストから)

1. 「TFTP PUT (この PC からのアップデート)」を選び、[OK] をクリックします。

このとき、本機のパスワードの入力が必要です。

2. ファームウェアファイル名を指定して [ロード] をクリックします。

BRAdmin Professional は TFTP プロトコルを使用して本機のファームウェアをアップデートします。

## ● ネットワークボードのファームウェアのアップデート時の注意

プログラムが終了すると自動的に本機が再起動します。再起動が完了するまで、絶対に本機の電源を切らないでください。

約 2 分経過しても再起動しない場合は、入力したパラメーターが正しいかどうか、およびネットワーク接続が良好かどうかを確認してください。もう一度本機の電源を入れ直し、ダウンロードを実行します。

## ● ADSL

Asymmetric Digital Subscriber Line の略。銅線の一般加入者電話（アナログ）回線を利用して、数 M ～数十 Mbps の高速データ通信を可能にする通信方式です。

## ● APIPA

Automatic Private IP Addressing の略。IP アドレスの自動的な割り当て管理機能です。最初に自身のシステムに割り当てる IP アドレスを「169.254.1.0 ～ 169.254.254.255」の範囲からランダムに 1 つ選びます。そして、ARP 要求をネットワークにブロードキャストすることによって、その IP アドレスがほかのシステムで利用されていないかどうかを確認します。もし他のシステムから ARP の応答が返ってくれば、その IP アドレスは使用中であるとみなし、別の IP アドレスで再試行します。このようにして未使用の IP アドレスを見つけ、自身のシステムに割り当てることによって、IP アドレスが重複しないことを保障します。

## ● ARP

Address Resolution Protocol の略。IP アドレスから MAC アドレス（イーサネットアドレス）を求めるためのプロトコルです。

## ● BOOTP

BOOTstrap Protocol の略。ハードディスクを搭載しないディスクレスクライアントシステムが、ネットワークアクセスを行うための IP アドレスやサーバーアドレス、起動用プログラムのロード先などを見つけだし、システムを起動できるようにすることを目的として開発された UDP/IP 上のプロトコルです。BOOTP を利用すれば、ネットワーククライアントの IP アドレスやノード名、ドメイン名、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイアドレス、DNS サーバーアドレスなどの情報を、クライアントの起動時に動的に割り当てられるようになります。TCP/IP ネットワークでは、各クライアントごとにこれらのネットワーク情報を設定する必要がありますが、BOOTP を利用すれば、クライアントの管理をサーバー側で集中的に行えるようになります。その後一部を改良された DHCP が開発され、広く利用されるようになっています。

## ● DHCP

Dynamic Host Configuration Protocol の略。DHCP は、IP アドレスやサーバーアドレスなどの設定ファイルを起動時に読み込めるように開発された BOOTP（BOOTstrap Protocol）をベースとする上位互換規格です。

BOOTP では、クライアントの IP アドレスやノード名などはあらかじめ決定しておく必要がありますが、DHCP では、クライアントがネットワークに参加するためのすべてのパラメーター（IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、ドメイン名など）を動的に割り当てられるようになっています。サービスを実行するにはサーバーまたは、その機能を持つルーターが必要です。

## ● DNS サーバー

Domain Name System という体系で命名されたホスト名（ドメイン名）から IP アドレスを調べるためのサービスです。ネットワーク上の資源を管理・検索するためのシステムです。インターネット上での名前の解決（ホスト名から IP アドレスを調べること）に広く利用されています。

## ● FTTH

Fiber To The Home の略。電話局から各家庭までの加入者線を結ぶアクセス網を光ファイバー化し、高速な通信環境を構築する計画のことを指します。

## ● ISDN

Integrated Services Digital Network の略。「総合デジタル通信網」と呼ばれるサービス体系の総称です。

## ● LAN

Local Area Network の略。同一フロア、同一のビル内などにあるパソコン同士を、Ethernet などの方法で接続したネットワークのことを指し、閉鎖されたネットワークに位置付けられています。

## ● MAC アドレス（イーサネットアドレス）

OSI 参照モデルのデータリンク層で定義されるインターフェイスカードのアドレス。Media Access Control の略。機器内部に記憶されているので、ユーザーが変更することはできません。

## ● mDNS (multicast DNS)

DNS サーバーが存在しないような小規模なローカルエリアネットワーク環境においても、クライアントパソコンがネットワーク上に存在する機器を名前で検索して利用できるようにする機能です。Apple® Mac OS® X の簡易ネットワーク設定機能などで使われています。

## ● ping

Packet InterNetwork Groper の略。相手先ホストへの到達可能性を調べるコマンドです。

## ● RARP

Reverse Address Resolution Protocol の略。TCP/IP ネットワークにおいて、MAC アドレス（イーサネットアドレス）から IP アドレスを求めるのに使われるプロトコルです。

## ● SOHO

Small Office / Home Office の略。小人数のオフィスや、家庭で仕事をする個人事業者を指す言葉です。大企業と対照的に使用されることが多いようです。

## ● TCP/IP

Transmission Control Protocol / Internet Protocol の略。インターネットで使用されているプロトコル、通信ソフト（アプリケーション）を特定して通信路を確立するプロトコル（TCP）と、通信経路（IP）から構成されています。OSI 参照モデルでは TCP はレイヤー 4、IP はレイヤー 3 に対応しています。

## ● WINS

Windows Internet Name Service の略。Windows 環境で、ネームサーバーを呼び出すためのサービスです。サービスを実行するにはサーバーが必要です。

## ● WWW

World Wide Web の略。インターネットでの情報検索システム、サービスシステムのひとつです。

## ● カテゴリー

LAN ケーブルの品質を指します。カテゴリー 5 は 100BASE-TX で利用されています。将来ギガビットイーサネット（1000BASE-T）によるネットワークを想定する場合は、カテゴリー 6 を選択することが推奨されています。カテゴリー 5 で保証される周波数帯域は 100MHz までですが、カテゴリー 6 では 250MHz まで保証されています。また、LAN ケーブルは UTP ケーブルと呼ばれる場合もあり、UTP は Unshielded Twisted Pair の略でより線のことを指しています。シールド付きのものは、STP ケーブルと呼ばれます。

## ●ゲートウェイアドレス

ネットワークとネットワークを接続する際の、外部のネットワークとの接点となるホストの IP アドレスを指します。「デフォルトルーター」や、単に「ルーター」と呼ばれる場合もあります。ルーターは、同一ネットワーク内に存在するホストである面と、他のネットワークにも同時に所属している面を持っています。

## ●サブネットマスク

ネットワークを複数の物理ネットワークに分割するのに使用します。サブネットマスクはクラスごとに固定されています。

クラス A	255.0.0.0
クラス B	255.255.0.0
クラス C	255.255.255.0

ルーターの取扱説明書によっては、192.168.1.1 / 255.255.255.0 のことを、192.168.1.1/24 と表記している場合があります。255.255.255.0 を 2 進数に換算すると、先頭から 1 が 24 個並びます。"/24" とは、このことを指します。24bit 以外のマスク値を設定することも可能ですが、IP 管理が複雑になるので、マスク値は 24bit でご利用することをお勧めします。なお、ローカルネットワークで利用する IP アドレスのことをプライベート IP アドレスと呼び、こちらもクラスが分かれています。

クラス A	10.0.0.0 ~ 10.255.255.255
クラス B	172.16.0.0 ~ 172.31.255.255
クラス C	192.168.0.0 ~ 192.168.255.255

## ●スイッチングハブ

スイッチング機能を持つハブ（集線装置）。パケットをその宛先に応じて振り分け、ネットワークトラフィックを局所化して、ネットワークの全体的な通信バンド幅を増やすことができるのが特徴です。10BASE-T や 100BASE-TX などのネットワークでは、各ネットワーク機器同士をハブを使って相互に接続していますが、Ethernet の通信方式の関係上、ノード数が増えると有効な帯域幅が急速に飽和するという特性を持っています。そこで、実際に通信をするポート同士だけを直結して通信を行い、それ以外のポートへは流れないようにするスイッチング技術が開発されました。これを実装したハブをスイッチングハブといいます。

## ●ノード

node。ネットワークに接続されているパソコンなどの機器を指します。「ノード名」と「ホスト名」は同じ意味です。

## ●ルーター

ネットワーク間（LAN と LAN、LAN と WAN）の接続を行うネットワーク機器の一つです。ルーターにはインターネット接続されたアドレスを変換し、LAN 内からアクセスできるようにする機能や、指定したポートを通じて LAN 内のサーバーを外部に公開する NAT（アドレス変換）の機能があります。

# ネットワークの仕様

項目	内容	
ネットワークノードタイプ	NC-6400h	
対応 OS	Windows <sup>®</sup> 95/98/Me/2000 Professional/XP、Windows NT <sup>®</sup> 4.0 Mac OS <sup>®</sup> 9.1 ~ 9.2、Mac OS <sup>®</sup> X 10.2.4 ~ 10.2.8、Mac OS <sup>®</sup> X 10.3 ~ 10.4	
プロトコル	TCP/IP : IPv4	APR, RARP, BOOTP, DHCP, APIPA (Auto IP) , WINS, NetBIOS name resolution, DNS resolver, mDNS, LPR/LPD, Custom Raw ポート / ポート 9100, SMB Print, IPP, FTP server, Telnet, SNMP, HTTP, TFTP, SMTP Client
	TCP/IP : IPv6	NDP, DNS Resolver, mDNS, LPR/LPD, Custom Raw ポート / ポート 9100, IPP, FTP server, Telnet, SNMP, HTTP, TFTP, SMTP Client
ネットワークタイプ	10/100BASE-TX イーサネットネットワーク	
ネットワーク印刷	Windows <sup>®</sup> 95/98/Me : ピアツーピア印刷 Windows NT <sup>®</sup> 4.0、Windows <sup>®</sup> 2000/XP : TCP/IP 印刷 Macintosh <sup>®</sup> 印刷	
対応パソコン (ドライバー、BRAdmin Professional、ピアツーピアソフトウェアなど)	プロセッサー 最速スピード	Windows <sup>®</sup> 95/98 : 486/66MHz 以上 Windows <sup>®</sup> Me : Intel <sup>®</sup> Pentium <sup>®</sup> 150MHz 以上 Windows NT <sup>®</sup> 4.0 : Intel <sup>®</sup> Pentium <sup>®</sup> 75MHz 以上 Windows <sup>®</sup> 2000 : Intel <sup>®</sup> Pentium <sup>®</sup> 133MHz 以上 Windows <sup>®</sup> XP : Intel <sup>®</sup> Pentium <sup>®</sup> 300MHz 以上
	最小 RAM	Windows <sup>®</sup> 95/98 : 8MB 以上 Windows <sup>®</sup> Me : 32MB 以上 Windows NT <sup>®</sup> 4.0 : 16MB 以上 Windows <sup>®</sup> 2000 : 64MB 以上 Windows <sup>®</sup> XP : 128MB 以上
	推奨 RAM	Windows <sup>®</sup> 95/98 : 16MB 以上 Windows <sup>®</sup> Me : 64MB 以上 Windows NT <sup>®</sup> 4.0 : 32MB 以上 Windows <sup>®</sup> 2000 : 128MB 以上 Windows <sup>®</sup> XP : 128MB 以上
Macintosh <sup>®</sup> 接続	パソコン	イーサネット対応 Power Macintosh <sup>®</sup>
	RAM	Mac OS <sup>®</sup> 9.1 ~ 9.2 : 32MB 以上 (64MB 以上推奨) Mac OS <sup>®</sup> X 10.2.4 ~ 10.2.8 : 128MB 以上 (160MB 以上推奨) Mac OS <sup>®</sup> X 10.3 ~ 10.4 : 128MB 以上 (160MB 以上推奨)
	動作環境	Mac OS <sup>®</sup> 9.1 ~ 9.2、Mac OS <sup>®</sup> X 10.2.4 ~ 10.2.8、 Mac OS <sup>®</sup> X 10.3 ~ 10.4
管理ユーティリティ	BRAdmin Professional	Windows <sup>®</sup> 95/98/Me/2000/XP, Windows NT <sup>®</sup> 4.0
	BRAdmin Light	Mac OS <sup>®</sup> X 10.2.4 ~ 10.2.8、Mac OS <sup>®</sup> X 10.3 ~ 10.4



**A**  
APIPA .....2-13, 10-1, 10-2

**B**  
BOOTP ..... 10-3  
BRAdmin Light .....8-1, 10-2  
BRAdmin Professional  
.....2-3, 2-4, 6-1, 10-2, 10-5  
BR-Script 3 ..... 7-3

**D**  
DHCP ..... 10-2

**F**  
FUJI XEROX ピアツーピア印刷ソフトウェア .4-9  
FUJI XEROX ピアツーピア印刷 (LPR)  
ソフトウェア ..... 4-15  
FUJI XEROX ピアツーピア印刷 (NetBIOS)  
ソフトウェア ..... 4-18

**I**  
Internet Explorer ..... 3-1  
IPv 6 ..... 2-14  
IP アドレス ..... 1-8, 2-8, 10-1, 10-2  
IP アドレス配布サーバー ..... 1-8, 6-2, 8-1  
IP 取得方法 ..... 2-12  
IP 取得リトライ回数 ..... 2-11

**L**  
LAN .....1-6, 2-2, 10-10  
LPR .....4-2, 4-15, 9-6

**N**  
NetBIOS .....4-17, 4-18, 9-7  
NetBIOS/IP ..... 2-15  
Netscape Navigator ..... 3-1

**R**  
RARP ..... 10-2

**S**  
SQE (ハートビート) ..... 9-4

**T**  
TCP/IP .....2-6, 2-7, 4-2, 9-3, 9-6  
TCP/IP オン / オフ ..... 2-6  
TCP/IP の追加 ..... 4-8  
TCP/IP プロトコルの追加  
.....4-18, 4-21, 4-24, 4-14, 4-18

**U**  
URL ..... 5-3

**W**  
Web ブラウザー .....3-1, 9-7

**あ**  
アップデート ..... 10-5

**い**  
イーサネットモード ..... 2-16  
インストール ..... 4-9, 4-15, 4-18, 6-1  
インターネット印刷 ..... 5-1

**け**  
ゲートウェイ ..... 1-8, 2-10, 6-2, 8-1

**さ**  
サービス ..... 10-4  
サブネットマスク .....2-9, 1-9

**せ**  
設定一覧 ..... 2-18

**そ**  
操作パネル ..... 2-5

**て**  
定義済みサービス ..... 10-4

**と**  
ドメイン名 ..... 4-17  
トラブルシューティング ..... 9-2

**ね**  
ネットワーク ..... 10-10  
ネットワークインターフェースの設定 .....6-2, 8-1  
ネットワーク共有 ..... 1-6  
ネットワークケーブル (LAN ケーブル) ..... 1-11  
ネットワーク設定リセット ..... 2-17  
ネットワークプリンタの共有形態 ..... 1-6

**は**  
ハブ ..... 1-11

**ひ**  
ピアツーピア接続 ..... 1-6

## ふ

ファームウェア .....	10-5
ファームウェアアップデート .....	10-5
ファームウェアアップデート時の注意 .....	10-6
ファイアウォール .....	9-8
プリンターの関連付け .4-2, 4-11, 4-16, 4-21, 4-24	
プリントサーバー .....	7-2
プロトコル .....	9-6, 4-2

## ほ

ポートの追加 .....	4-2
--------------	-----

## る


ルーター .....	1-11
------------	------

## 商品のお問い合わせ先について

- この商品の**保守、操作、修理**(内容・期間・費用)のお問い合わせ、**消耗品**のご購入について、および本機を廃却する場合は、商品に貼られている保守サポートの問い合わせ先カードの裏面に記載のあるテレフォンセンター、または商品センターにお問い合わせください。

THE DOCUMENT COMPANY FUJI XEROX	
保守・操作の問い合わせ、 消耗品のご用命は、 裏面の電話番号へご連絡ください。	
●裏面の記入がない場合の連絡先 富士ゼロックスプリンティングシステムズ株式会社 プリンターサポートデスク TEL: <b>0120-66-2209</b> 受付時間 9:00 ~ 17:30 (土、日、祝祭日を除く)	
A-24017	

表面

THE DOCUMENT COMPANY FUJI XEROX	
●保守・操作の問い合わせ (テレフォンセンター)	
TEL.	<input type="text"/>
FAX.	<input type="text"/>
●用紙・消耗品のご用命 (商品センター)	
TEL.	<input type="text"/>
●お手数ですが電話口の係員に下記の番号をお伝えください。	
機種 <input type="text"/>	機械 No. <input type="text"/>

裏面

お問い合わせ先が不明の場合は、富士ゼロックスプリンティングシステムズプリンターサポートデスクにお問い合わせください。(各アプリケーションの操作につきましては、各ソフトウェアメーカーの問い合わせ窓口にお問い合わせください。)

フリーダイヤル

フジゼロックス



**0120-66-2209**

FAX : 03-3342-1552

フリーダイヤル受付時間：土曜、日曜、休祝日を除く9時～17時30分、東京でお受けします。

ただし、通話地域制限がある内線電話機からはご利用になれません。全国通話できる電話機をご使用ください。  
表記の窓口は日本国内のお客様に限らせていただきます。

弊社へのお問い合わせの際には、機種名と機械番号を確認させていただきます。

保守サポートの問い合わせ先カードの裏面の「機種」「機械No.」、もしくは商品の背面または側面の銀色のシールに記載されている「商品名」「商品コード」「SER#」を事前にご確認ください。

## DocuPrint 2000 ネットワーク設定説明書

著作者 富士ゼロックス株式会社

発行年月 2006 年 7 月 第 1 版

発行者 富士ゼロックスプリンティングシステムズ株式会社

帳票 No:ME3743J1-1